

「みなとオアシス」を活用した 賑わい創出の推進

国土交通省 港湾局

評価書の要旨

テーマ名	「みなとオアシス」を活用した賑わい創出の推進	担当課 (担当課長名)	港湾局産業港湾課 中川 研造
評価の目的、 必要性	「みなとまちづくり」は、国、港湾管理者、民間事業者が連携して、みなとの資産を最大限活用する必要があるが、広域的な視点からのブランド化、他事例・ベストプラクティスの共有、財政支援を含む制度面の支援といった観点から、国が「みなとオアシス制度」を創設（平成15年）して、支援している。 制度創設から20年が経過し、取り組みが一定程度進んできたことから、これまでの「みなとオアシス」を活用した賑わい創出の取組等について政策レビューを実施し、「みなとオアシス」を活用した、更なる賑わい創出に向けた仕組み等を検討することを目的とする。		
評価対象	「みなとオアシス」とは、地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取組が継続的に行われ、みなとまちづくりの核となる施設を、施設の設置者からの申請に基づき、国土交通省港湾局長が登録して、各みなとオアシスへ技術面での助言、PR活動や補助制度の活用などの支援をする制度。		
政策の目的	みなとオアシス制度は、みなと周辺の既存ストックを最大限活用しつつ、住民参加により地域の創意工夫を活かした賑わい創出のための取組を支援するものであり、地方活性化や地方創生に資する政策である。		
評価の視点	これまでの「みなとオアシス」における取組状況や実績を整理し、みなとの賑わいの創出に向けた手法や支援策、体制等の課題を確認する。 その際、設置者、運営者、利用者にとって、みなとオアシスの魅力が大きくなり、より賑わい創出につながる制度となるためのポイントを明確にする。		
評価手法	以下の手法により評価を実施する。 ・ みなとオアシス設置者から提出されている「みなとオアシス活動報告書」から各種取組を行う上での課題等を整理し、アンケート項目を検討する。 ・ アンケート及びヒアリング調査により、みなとの賑わいの創出に向けた手法や支援策、体制等の課題を確認する。		
評価結果	みなとオアシス登録後の効果については、アンケートより8割以上のみなとオアシスで、地域の賑わい創出に“貢献している”と回答しており、みなとオアシスの登録が賑わい創出に一定の効果があったといえる。 具体的には、“近づくにくい”、“親しみにくい”といった港湾周辺地域が、みなとオアシスの登録により、 ① 新たな商業施設等が立地したり、イベントが開催された等の具体的な変化がでている ② 賑わい創出の提供側の連携意識等も芽生え、新たなイベント開催にもつながった ③ 来訪者も増加し、周辺住民にも、みなとを含む地域の賑わい創出が認識されるようになった 等の効果があったとの回答があった。 他方、評価を整理し、以下の5つが更なる賑わい創出に向けた課題であるとした。 ↓次ページへ続く		

評価書の要旨

評価結果 (続き)	(1) 登録したメリットやPR効果が感じられない。またみなとオアシスの知名度は非常に低い。 (2) 活動に取り組む運営主体の人員不足、イベント等の賑わい創出に必要な企画の立案や実行を担当する人材の不足。 (3) 資金源について、行政からの交付金、補助金を受けているところが半数以上占めている。また、新たな施設の整備やイベントの活動が必要となった場合、各施設管理者における整備や活動に必要な予算がない。 (4) 複数の構成施設、施設管理者が存在している場合、手続きや調整に時間を要する。用地(港湾緑地)や港湾施設の活動時における使用許認可手続きに時間を要する場合ある。 (5) 災害時に活用可能な構成施設を有する「みなとオアシス」は多く存在するが、訓練等で活用した実績は少ない。
政策への 反映の方向	前項で挙げた5つの課題に対し、それぞれ以下のとおり今後の方向性に沿って必要な方策を検討・実施していく。 (1) 知名度向上、ブランド強化 ・各みなとオアシスの分類分けによるコンセプトの明確化やマーケティング戦略等を見直すことで各みなとオアシスを磨き上げ ・各みなとオアシス地方ブロック協議会の積極的な活用による、登録の効果やベストプラクティス(効果的なイベント、他の観光資源との連携、マーケティング戦略など)の横展開、各みなとオアシス地方ブロック単位での国による講演会等を開催 ・全国イベントの継続的な開催(Sea級グルメ全国大会等) ・HP、SNSや広報誌、メディアを活用した広報 ・国及び自治体の支援を含めた「みなとオアシス」と他の観光資源との連携を図る取組強化 (2) 人材不足に対する支援の強化 ・みなとまちづくりマイスター等の専門家などの活用 ・各みなとオアシス地方ブロック協議会の積極的な活用(再掲) ・民間主体の協議会形式によるみなとオアシスの運営を原則としていくことで、協議会中心のガバナンス(構成施設間の連携、みなとオアシス全体の運営)やノウハウの継続性を確保した運営を実施 ・地方整備局等の職員によるイベント等の活動支援 (3) 資金不足に対する支援の強化 ・イベント等の資金確保として、専門家派遣やベストプラクティスの横展開等によるノウハウの共有等による自主財源確保に向けた支援 ・施設整備等の資金確保として、国が「みなとオアシス支援メニュー」を再整理するとともに、国から各みなとオアシスへの説明会の開催等 ・地元のニーズに即した支援制度の検討 (4) 関係者間の事務手続きの共通化・簡素化 ・民間主導によるガバナンスやノウハウの継続性を確保した運営(再掲) ・関係者間の事務手続きの共通化・簡素化による調整コストの削減 (5) 災害支援機能の強化 ・国の方針(みなとオアシス防災ネットワーク)の周知を徹底、能登半島地震時のみなとオアシスの活用事例を自治体に共有することで、地域防災計画等へ、みなとオアシスの構成施設や防災に関する取組を位置づけることを促進 ・国による物資・人員輸送の訓練やセミナー等の開催 ・みなとオアシス間の防災時の相互協力体制を構築
第三者の 知見の活用	本政策レビューの実施にあたっては、学識経験者からなる「国土交通省政策評価会」より助言をいただいた。
実施時期	令和6年度

1. 評価の概要

1－1. 評価の目的、必要性	P5
1－2. 対象施策	P6
1－3. 評価の視点	P6
1－4. 評価手法	P7
1－5. 第三者の知見の活用	P8

2. 「みなとオアシス」
の概要

2－1. 対象施策の全体像	P9
2－2. 「みなとオアシス」導入の背景と目的	P10
2－3. 「みなとオアシス」の経緯(沿革)	P11～12
2－4. 「みなとオアシス」の概要	P13
2－5. 「みなとオアシス」の関係組織とその役割	P14
2－6. 「みなとオアシス」の関係制度(法令、税制、規制等)	P15
2－7. 「みなとオアシス」の関係予算	P16

3. 「みなとオアシス」 の実施状況	3-1. 「みなとオアシス」の実施状況	P17 ~ 20
	3-2. 「みなとオアシス」の活動状況	P21 ~ 22
	3-3. 「みなとオアシス」の活動に関する課題等	P23
	3-4. 「みなとオアシス」への支援	P24 ~ 28
4. 「みなとオアシス」 の評価	4-1. 評価対象と評価手法	P29
	4-2. アンケート調査及びヒアリング調査結果	P30 ~ 50
	4-3. 評価結果	P51 ~ 53
5. 今後の方向性	5-1. 知名度向上、ブランド力向上	P54 ~ 56
	5-2. 人材不足に対する支援の強化	P57 ~ 58
	5-3. 資金不足に対する支援の強化	P59 ~ 60
	5-4. 関係者間の事務手続きの共通化・簡素化	P61 ~ 62
	5-5. 災害支援機能の強化	P63 ~ 64
参考資料	アンケート調査票	P65

1-1. 評価の目的、必要性

平成14年11月の交通政策審議会の答申「経済社会の変化に対応し、国際競争力の強化、産業の再生、循環型社会の構築などを通じてより良い暮らしを実現する港湾政策のあり方」において、地域が個性ある発展を将来に亘り着実に進めるための施策として「みなとまちづくり」が初めて港湾施策の柱の一つに位置づけられた。

「みなとまちづくり」は、国、港湾管理者、民間事業者が連携して、みなとの資産を最大限活用する必要があるが、広域的な視点からのブランド化、他事例・ベストプラクティスの共有、財政支援を含む制度面の支援といった観点から、国（中国地方整備局及び四国地方整備局）が「みなとオアシス制度」を創設（平成15年）して、各みなとオアシスへの技術面での助言、PR活動や補助制度の活用などの支援をしている。

平成21年10月には、みなとオアシスの相互の情報交換等を行うことにより、みなとオアシスの個性豊かな発展を目指すとともに、あわせて、みなとまちづくりを進めることを目的とした、「みなとオアシス全国協議会」が設立された。

平成23年よりみなとオアシスの「食」をテーマとした取組である「Sea級グルメ全国大会」が、みなとオアシスの知名度向上、利用促進を図る取組として開始された。

平成29年2月には、急増するクルーズ客の受け入れ、防災拠点の形成等の全国的なニーズや課題に対応するため「運営要綱」を策定し、全国統一した定義、機能による取組として、港湾局長が登録する制度改正を行った。

創設から20年が経過し取組が一定程度進んできたことから、これまでの「みなとオアシス」を活用した賑わい創出の取組等について、政策レビューを実施し、「みなとオアシス」を活用した更なる賑わい創出に向けた仕組み等を検討することを目的とする。

1-2. 対象施策

対象施策は以下のとおり。

「みなとオアシス」制度

地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取組が継続的に行われる施設を国土交通省港湾局が登録して、各みなとオアシスへの技術面での助言、PR活動や補助制度の活用などの支援をする制度。

1-3. 評価の視点

以下の視点から評価を実施する。

- ① これまでの「みなとオアシス」における取組状況や実績を整理し、みなとの賑わいの創出に向けた手法や支援策、体制等の課題を確認する。
- ② その際、設置者、運営者、利用者にとって、みなとオアシスの魅力が大きくなり、より賑わい創出につながる制度となるためのポイントを明確にする。

1-4. 評価手法

以下の手法により評価を実施する。

- ① みなとオアシス設置者から提出されている「みなとオアシス活動報告書」から各種取組を行う上での課題等を整理し、アンケート項目を検討する。

分析対象： 年間活動報告書（令和5年度）

報告者： みなとオアシス設置者

- ② アンケート及びヒアリング調査により、みなとの賑わいの創出に向けた手法や支援策、体制等の課題を確認する。

1-5. 第三者の知見の活用

本政策レビューの実施に当たっては、学識経験者等からなる「国土交通省政策評価会」より助言をいただいた。

【国土交通省政策評価会委員】

加藤 浩徳	東京大学大学院工学系研究科 教授(座長)
大串 葉子	同志社大学大学院ビジネス研究科 教授
鎌田 裕美	一橋大学経営管理研究科 教授
佐藤 主光	一橋大学経済学研究科 教授
白山 真一	宇都宮大学データサイエンス経営学部 教授、公認会計士、中小企業診断士
鈴木 美緒	東海大学建築都市学部 准教授
平田 輝満	茨城大学学術研究院応用理工学野都市システム工学領域 教授
松田 千恵子	東京都立大学経済経営学部 教授

2. 「みなとオアシス」の概要

2-1. 対象施策の全体像

○みなとオアシス導入の背景

- 平成14年11月の交通政策審議会の答申「経済社会の変化に対応し、国際競争力の強化、産業の再生、循環型社会の構築などを通じてより良い暮らしを実現する港湾政策のあり方」において、みなとの資産を最大限に活用し、市民の合意の下で活力のある空間を形成するために幅広い関係者が有機的に連携してまちづくりに取り組む「みなとまちづくり」が初めて港湾施策の柱の一つに位置づけられた。
- この「みなとまちづくり」を具体化させるため、住民参加による地域振興の取組の核となる施設を指定し、広域的な視点からのブランド化、他事例・ベストプラクティスの共有、財政面を含む制度面の支援を行う観点から、国が「みなとオアシス制度」を創設(平成15年)して、支援している。
- 平成21年にみなとオアシスが相互情報交換等を行う「全国協議会」を立ち上げた。
- 平成23年より、みなとオアシスの知名度向上と利用促進を図ることを目的に、「Sea級グルメ全国大会」を開催している。

○みなとオアシスの機能

【必須機能】

- 交流・休憩機能（旅客施設、トイレ、広場など）
- 情報の提供機能（観光案内施設など）

【任意機能】

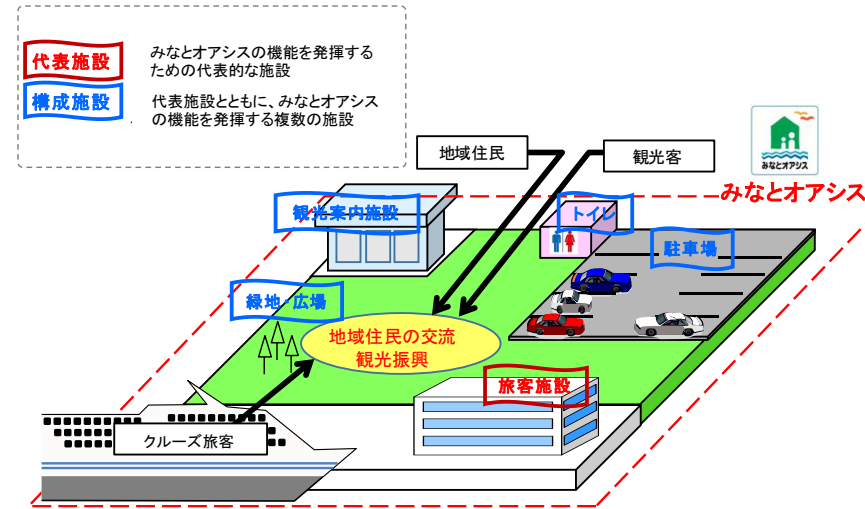
- 災害支援機能（支援物資備蓄施設など）
- 物販、飲食等の商業機能（レストランなど）

○みなとオアシスの設置者・運営者等の関係主体

- 地方公共団体（港湾管理者含む）
- NPO団体、協議会など

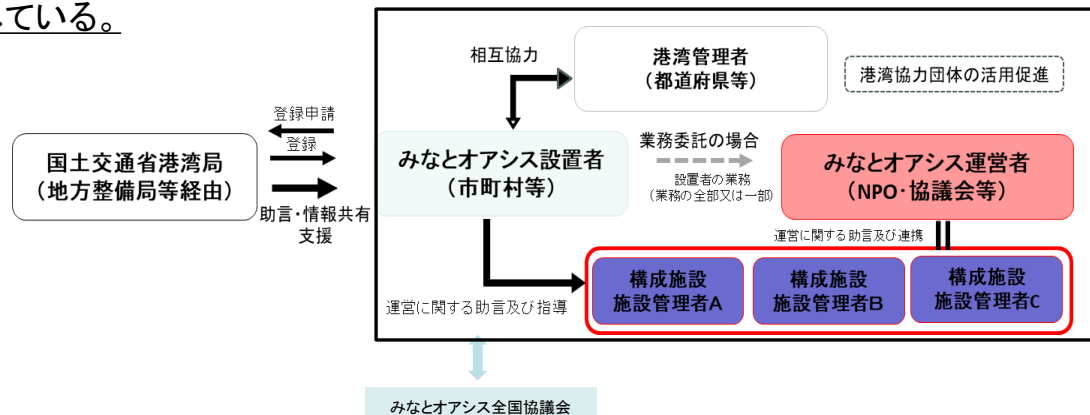
みなとオアシスは、交流・休憩、情報提供、災害時支援、物販、飲食等を提供する複数の施設から構成される。

その規模や構成内容は、各みなとオアシスで異なる。



▲ みなとオアシスの概要

イベントや広報などの地域の賑わい創出に向けた取組が円滑に行われるよう、NPOや協議会等が運営者となり、各構成施設の管理者と連携している。



▲ みなとオアシスの関係組織とその役割

2-2. 「みなとオアシス」導入の背景と目的

- 平成14年の交通政策審議会答申で、地域が個性ある発展を将来に亘り着実に進めるための施策として「みなとまちづくり」が初めて港湾政策の柱に位置づけられ、それを具体的に推進する制度として、中国・四国地方整備局がみなとオアシス制度を創設（平成15年）した。
- 令和2年8月の交通政策審議会答申で、「みなとオアシス」を災害時に復旧・復興の拠点として機能させ、これをネットワーク化して、広域的な災害対応を可能とする「みなとオアシス防災ネットワーク」の構築が位置づけられた。

	港湾政策ビジョン、答申の名称	賑わい等に関する政策等の概要
平成7年10月	長期港湾政策「大交流時代を支える港湾」	・「 <u>親しみのあるウォーターフロント空間の新展開</u> 」の施策として、 <u>緑地、交流施設、賑わい施設などが相互に連携し面的な広がりをもって一体的に配置された親しみやすい空間を目指すことなどが位置付けられた。</u>
平成14年11月	交通政策審議会（答申）経済社会の変化に対応し、国際競争力の強化、産業の再生、循環型社会の構築などを通じてより良い暮らしを実現する港湾政策のあり方	・ 物流の効率化、国際的な港湾競争への対応などと並び「<u>みなとまちづくりの推進</u>」が政策の柱として位置づけられた。 ・ その中で、「<u>みなと</u>」の資産を最大限に活用し、国も幅広い関係者と連携し、積極的に支援するとされた。
令和2年8月	交通政策審議会（答申）今後の港湾におけるハード・ソフト一体となった総合的な防災・減災のあり方	・ 一定の条件を満たす「 <u>みなとオアシス</u> 」を災害時に復旧・復興の拠点として機能する災害対応型「 <u>みなとオアシス</u> 」として位置づけ、資機材の保管等を行うとともに、これをネットワーク化して、広域的な災害対応を可能とする「 <u>みなとオアシス防災ネットワーク</u> 」の構築が位置づけられた。

2-3. 「みなとオアシス」の経緯(沿革)

1. 平成15年11月20日創設(中国地方整備局・四国地方整備局)

平成14年12月国土交通省交通政策審議会答申で「みなとまちづくりの推進」が政策の柱として初めて位置づけられた。

平成15年11月に「みなとまちづくり」の取組の核となる施設を指定し、活動を支援する制度として、国（中国地方整備局及び四国地方整備局）が「みなとオアシス」制度を創設した。

2. 全国の各地方整備局において「みなとオアシス」を制度を創設

中国地方整備局及び四国地方整備局に引き続き、各地方整備局においても随時「みなとオアシス」制度を創設し、平成21年までに全国展開した。

3. 平成21年10月17日「みなとオアシス全国協議会」設立

みなとオアシス相互の情報交換等を行うことにより、みなとオアシスの個性豊かな発展を目指すとともに、あわせて、みなとまちづくりを進めることを目的として、「みなとオアシス全国協議会」が設立された。

4. 平成29年2月1日全国統一の取組として、港湾局長の認定へ制度改正

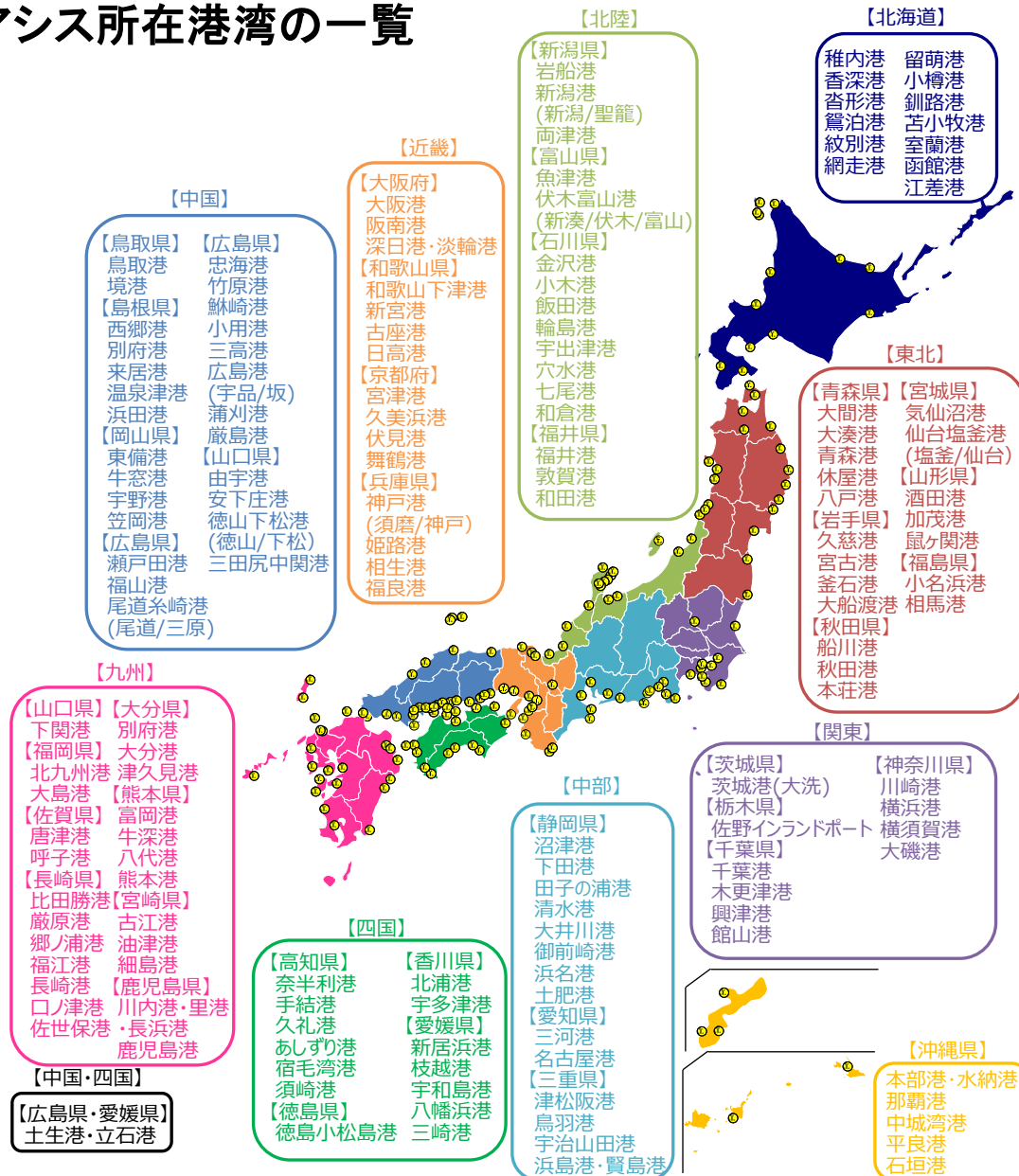
急増するクルーズ旅客の受け入れ、防災拠点の形成といった全国的なニーズや課題に対応するため、「みなとオアシス運営要綱」を策定し、全国統一した定義、機能を有した施設とし、登録主体も地方整備局等から港湾局に変更する等の制度改正を行った。

【経緯】

年		認定者	認定数
平成15年	創設	中国地方整備局長 四国地方整備局長	2
平成17年		東北地方整備局長	15
平成18年		北陸地方整備局長	21
平成19年		九州地方整備局長 中部地方整備局長 近畿地方整備局長 北海道開発局長	33
平成20年		関東地方整備局長	43
平成21年		沖縄総合開発局長	86
平成29年	制度改正	港湾局長	99
令和6年		港湾局長	165

※R6.11.1時点

【参考】みなとオアシス所在港湾の一覧



登録数 165箇所

(令和6年11月1日時点)

2-4. 「みなとオアシス」の概要（みなとオアシス運営要綱、令和5年9月より）

（定義）

第2条 この要綱で「みなとオアシス」とは、地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取組が継続的に行われる施設として第5条の規定に基づく登録を受けたものをいう。

（機能及び施設）

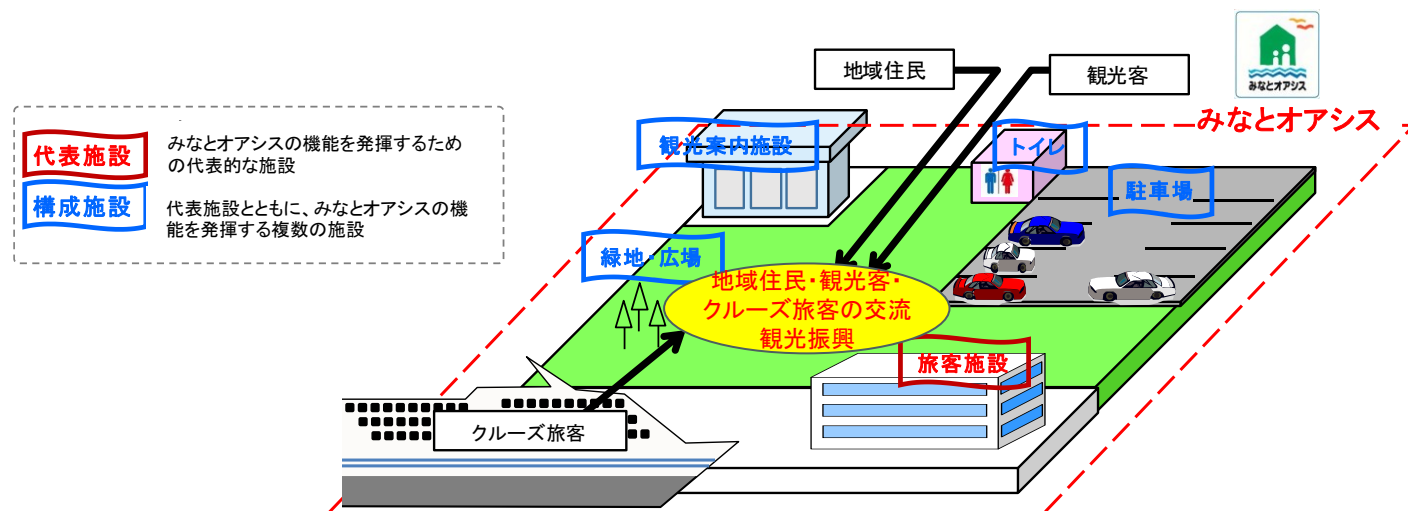
第3条 みなとオアシスは、次に掲げる機能を有するものとする。

- 一 地域住民、観光客、クルーズ旅客その他の港湾利用者等の交流及び休憩の機能
- 二 地域の観光及び交通に関する情報の提供機能

2 みなとオアシスは、前項各号に掲げるもののほか、次に掲げる機能を有するよう努めるものとする。

- 一 災害支援機能
- 二 物販、飲食等の商業機能
- 三 第1号及び第2号に掲げるもののほか、地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するために必要な機能

3 みなとオアシスは、前項に規定する機能を発揮する代表施設又はこれを含む複数の施設により構成するものとする。



2-5. 「みなとオアシス」の関係組織とその役割(みなとオアシス運営要綱、令和5年9月より)

(設置者の業務)

第9条 設置者は、次に掲げる業務を実施するものとする。

- 一 みなとオアシスの活動の企画
- 二 みなとオアシスの活動の実施に関する助言
- 三 みなとオアシスの活動状況の把握
- 四 みなとオアシスを構成する各施設の運営に関する助言及び指導
- 五 みなとオアシスの広報
- 六 他のみなとオアシスとの連携

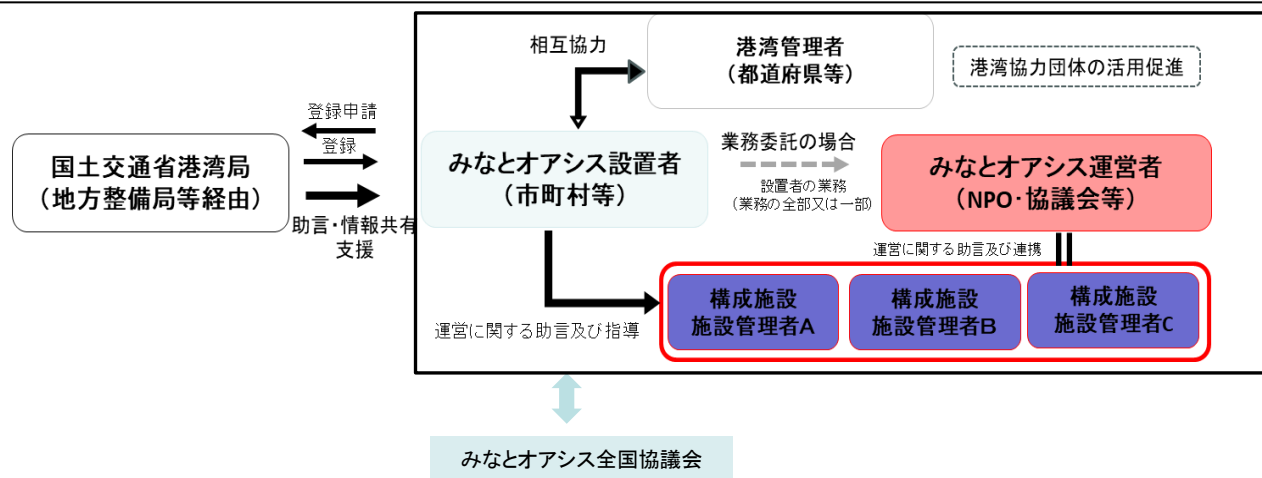
(運営者の任命及び業務の委託)

第10条 設置者は、前条の業務を効率的かつ効果的に実施するため、みなとオアシスの運営者(以下「運営者」という。)を任命し、その業務を委託することができる。

2 前項の運営者は、受託した業務の実施状況について、適宜、設置者に報告するものとする。

(港湾管理者との協力)

第11条 設置者及び運営者は、みなとオアシスが第3条第1項及び第2項に規定する機能を適切に発揮するよう、港湾管理者と相互に協力するものとする。



2-6. 「みなとオアシス」の関係制度（法令、税制、規制等）

- 国の港湾行政の指針であり、港湾管理者が個別の港湾計画等を定める際の指針となる「港湾の開発、利用及び保全並びに開発保全航路の開発に関する基本方針」と、港湾等の社会資本整備事業を重点的、効果的かつ効率的に推進するために策定する「社会資本整備重点計画」において、みなとオアシスが次のように位置付けられている。

【港湾法】

第一章の二 港湾計画等

（港湾及び開発保全航路の開発等に関する基本方針）

第三条の二 国土交通大臣は、港湾の開発、利用及び保全並びに開発保全航路の開発に関する基本方針（以下「基本方針」という。）を定めなければならない。

【港湾の開発、利用及び保全並びに開発保全航路の開発に関する基本方針（令和5年3月）】

（Ⅱ 港湾の配置、機能及び力に関する基本的な事項）

1 特に戦略的取り組む事項に係る基本な事項／（2）観光立国と社会の持続的発展を支える港湾機能の強化と港湾空間の利活用／②観光振興及び賑わい創出に資する港湾空間の利活用）

- ・港湾協力団体等との協働による各地域の文化・歴史及び地域の観光資源を活かしたみなとまちづくり並びに住民参加による地域振興の取り組みが継続的に行われるみなとオアシスの活性化の推進

【第5次社会資本整備重点計画（令和3年5月）】

（第3章 計画期間における重点目標、事業の概要）

第2節 個別の重点目標及び事業概要について 6-2: 人を中心に据えたインフラ空間の見直し

「新しい生活様式」に対応したゆとりある豊かな暮らしの実現を図るため、賑わいをはじめとした多様なニーズに応える道路空間の構築や魅力ある水辺空間の創出、「みなと」を核とした魅力ある地域づくりを推進する。

（重点施策の達成状況を測定する代表的な指標（KPI））

[44]〈インフラ利用により地域の賑わいをつくる〉インフラ空間の新たな利活用促進]

「みなと」を核とした魅力ある地域づくり

- ・みなとオアシス登録数 令和元年度 138 → 令和7年度 170

2-7. 「みなとオアシス」の関係予算(「みなとオアシス」に特化したもの)

- 「みなとオアシス」を構成する緑地や浮桟橋など地域住民の交流や観光振興を通じた地域活性化等の拠点となる港湾施設に対して、社会資本整備総合交付金の重点配分が可能となっている。
- 加えて、訪日外国人の受入環境の高度化などの施設整備に対しても、観光庁の補助金等の活用が可能となっている。

社会資本整備総合交付金、防災・安全交付金における配分の考え方(国土交通省公表)(抜粋)

2 港湾事業

社会資本整備総合交付金における港湾事業においては、インフラ整備を通じた国際競争力強化や地域経済・産業の活力向上を図るという考えの下、以下の事業に特化して策定される整備計画に対して重点配分を行うこととする。

③ 「みなとオアシス」の拠点機能の強化を図る港湾施設の整備

- (1) 地域住民の交流や観光振興を通じた地域活性化等の拠点の機能強化に係るもの
- (2) 「みなとオアシス」の防災機能強化に係るもの

【観光庁補助(インバウンド受入環境整備高度化事業)概要】

訪日外国人旅行者の周遊の促進・消費の拡大を図るため、ICT等を活用した観光地の受入環境整備を支援する。

■ インバウンド周遊環境の整備



- 観光スポットの多言語化
- 無料W-Fiの整備
- AIチャットボットの導入
- トイレの高機能化及び洋式便器の整備
- 観光案内所等の整備・改良
- キャッシュレス化
- ICTを活用したゴミ箱の整備
- ワークション環境の整備
- グランピング環境の整備
- 段差の解消

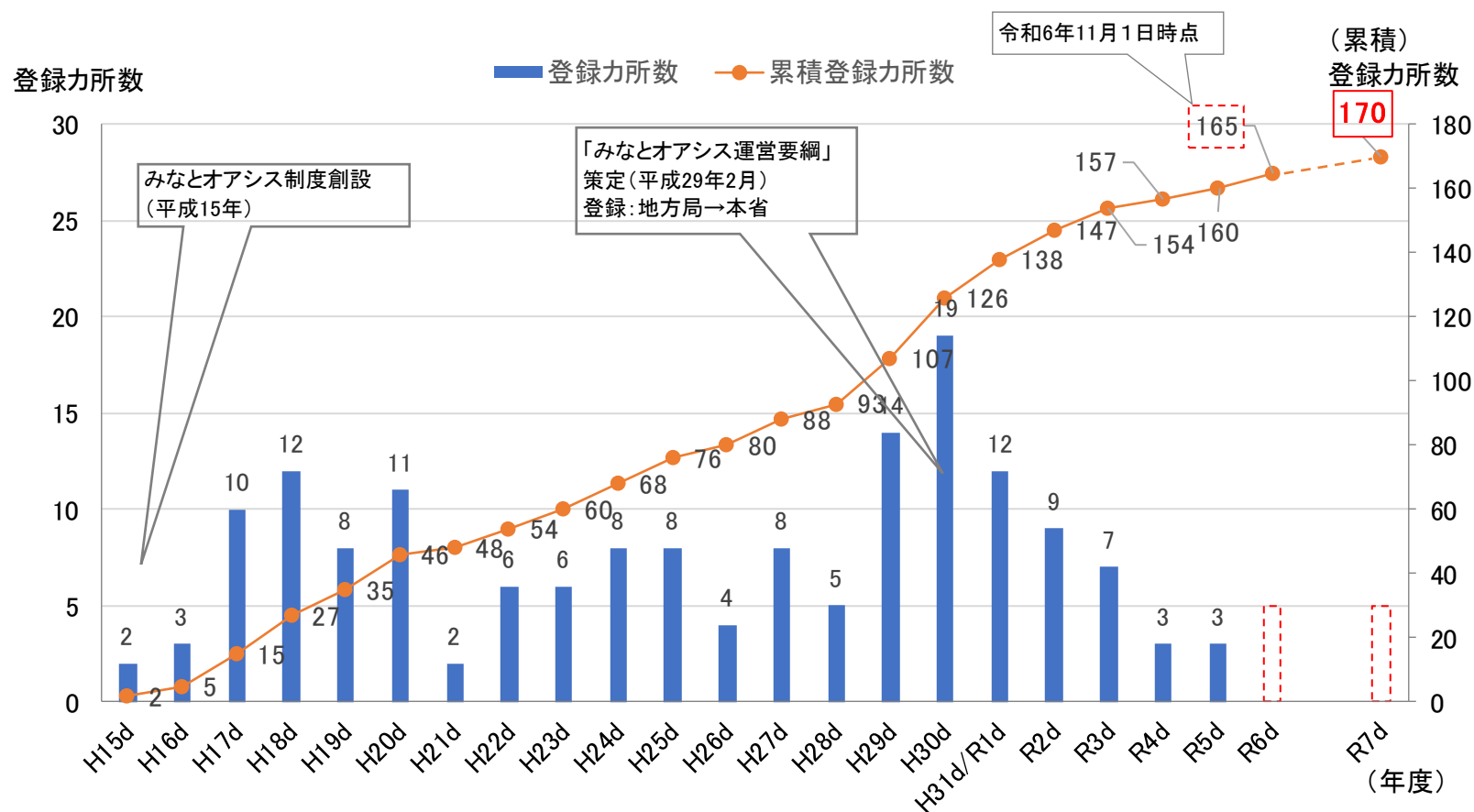
補助対象者	・地方公共団体 ・観光地域づくり法人(DMO)等 (みなとオアシスの設置者・運営者を含む)
補助率	面的整備事業は1/2 拠点機能強化事業は1/3



3-1. 「みなとオアシス」の実施状況

3-1-1. 登録数の推移

- みなとオアシスの登録数は、令和5年度末では160カ所（令和6年11月1日時点で165カ所）である。
- 第5次社会資本整備重点計画の目標値は、令和7年度末時点で、170カ所としている。



3. 「みなとオアシス」の実施状況

3-1. 「みなとオアシス」の実施状況

3-1-2. みなとオアシス具体事例

■ みなとオアシス浜名湖

「海やみなとの資源を活用した緑地公園、海水浴場等による賑わい創出」



【概要】

- みなとオアシス浜名湖は、海水浴をはじめとした多くのマリンスポーツ施設が立地しており、みなとオアシスを構成している。
- みなとオアシス運営者である湖西市は、(一社)湖西・新居観光協会や浜名湖ミナトリング実行委員会等各種イベント主催者と連携し、浜名湖スポーツフィッシングフェスタ等、豊富な水産資源を活かしたイベントを開催。地域内外からの多くの来訪者で賑わっている。

【基本情報】	
設置者	湖西市
運営者	湖西市
所在港湾	浜名港【地方港湾】
港湾管理者	静岡県
登録日	令和3年7月10日



【代表施設】

【主なイベント】



開催日: 令和6年7月20日~21日

浜名湖ミナトリング

開催日: 令和6年7月20日~21日

浜名湖スポーツフィッシングフェスタ

開催期間: 1月~3月
※令和6年度は1月7日~3月30日

牡蠣小屋

■ みなとオアシス八幡浜みなと

「みなとを核に地域交流の場や特産品の販売等による賑わい創出」



【概要】

- みなとオアシス八幡浜みなとは、情報発信施設である「みなと交流館」を中心に、新鮮な魚介類を販売する海産物直売所の「どーや市場」などの施設から構成され、市民の交流の場や憩いのある空間となっている。
- みなとオアシス運営者である「港まちづくり八幡浜」は、自治体や地域活動団体と連携し、定期的に地元の特産品等の販売などを行う各種交流イベントも開催しており、地域内外からの多くの来訪客で賑わっている。

【基本情報】	
設置者	八幡浜市
運営者	特定非営利活動法人 港まちづくり八幡浜
所在港湾	八幡浜港【地方港湾】
港湾管理者	八幡浜市
登録日	平成17年8月29日(四国地方整備局長) 平成29年2月16日(港湾局長)



【代表施設】

【主なイベント】



みなと交流館

みなと市

開催日: 令和6年8月15日

八幡浜みなと花火大会

開催日: 令和6年11月10日

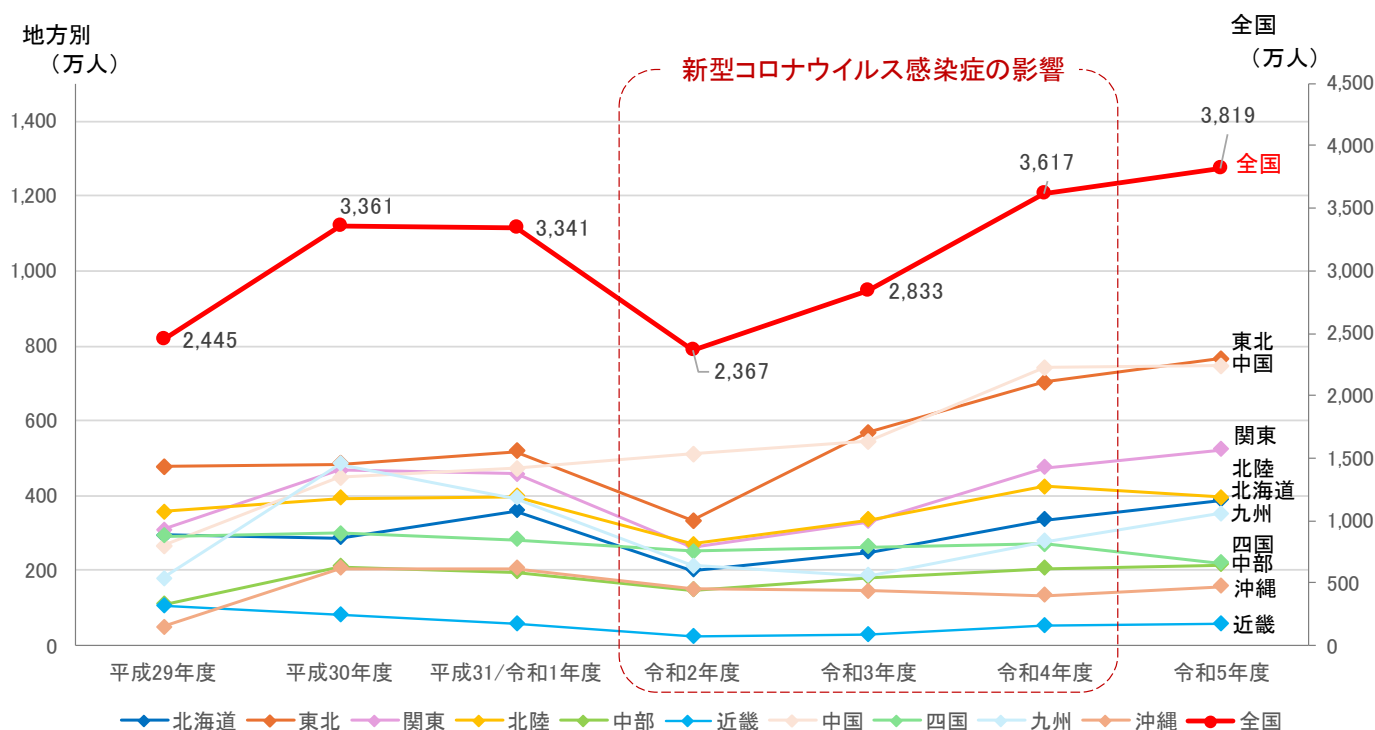
やわたはま産業まつり

3. 「みなとオアシス」の実施状況

3-1-3. みなとオアシス入込客数の推移

- みなとオアシスの入込客数(※)は、平成31/令和元年度までは登録力所数の増加とともに増加したが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で大きく減少した。
- 令和3年度以降は再び増加し、令和5年度には新型コロナウイルス感染症以前の水準を上回る3,800万人となり、一部の地方(沖縄、四国、九州等)を除いて、みなとオアシスへの入込客数は概ね回復傾向にある。

※ 各みなとオアシスを構成する「代表施設」の入込客数を合計

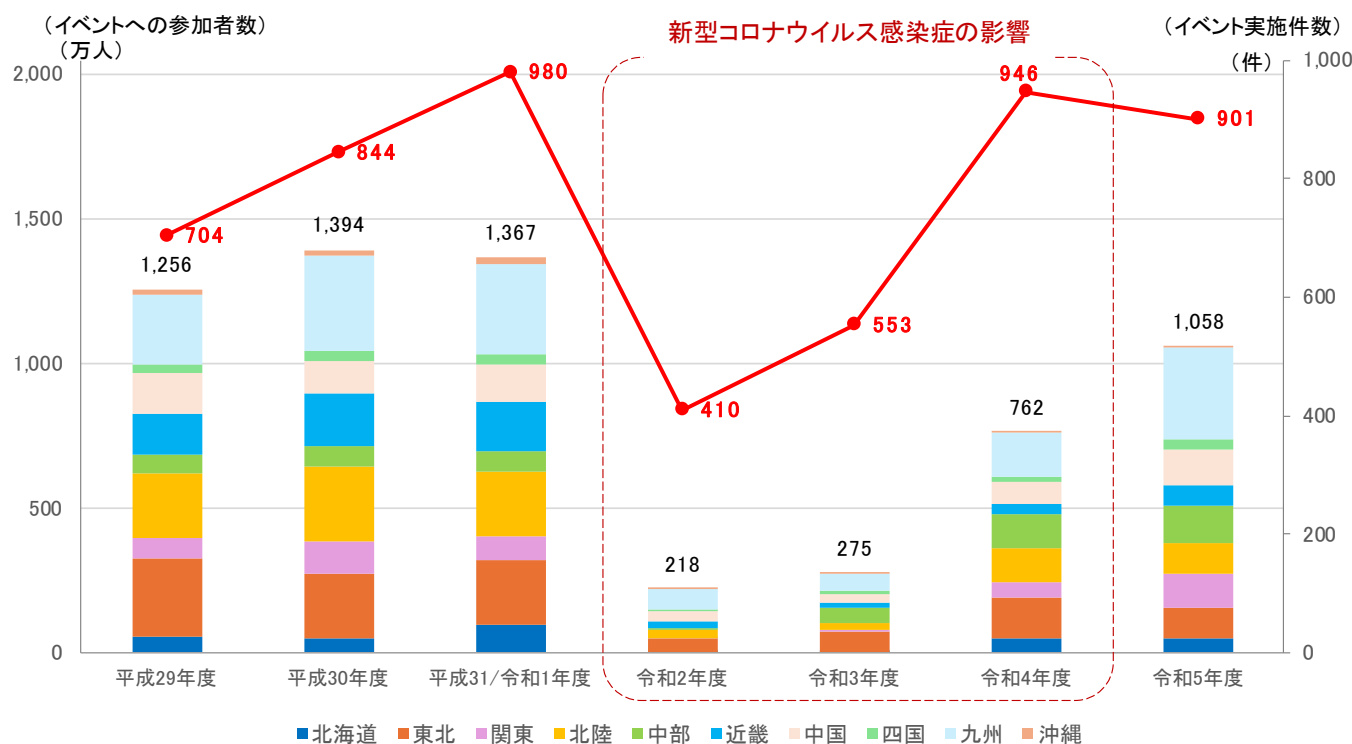


資料: みなとオアシス活動報告書

代表施設のみなとオアシス入込客数の推移

3-1-4. みなとオアシスにおけるイベント実施状況(件数、参加者数)

- 平成31/令和元年度(新型コロナウイルス感染症以前)では、登録力所数とともに、みなとオアシスで催されるイベント実施件数や参加者数は増加し、イベントによる集客効果が確認できる。
- 令和2～3年度には新型コロナウイルス感染症の影響により、みなとオアシスでイベントをとりやめたため、イベント件数や参加者数が大きく落ち込んだものの、コロナ禍が落ち着いた令和4年度からイベント実施件数と、参加者数も徐々に回復傾向を呈し、令和5年度には、イベント実施件数、参加者数も令和元年度の8～9割の水準まで回復しつつある。



資料: みなとオアシス活動報告書

3. 「みなとオアシス」の実施状況

3-2. 「みなとオアシス」の活動状況

3-2-1. 「みなとオアシス」の活動状況(平常時)

○「みなとオアシス」では、地域住民、観光客、クルーズ旅客等が交流するイベントや見学会が開催されている。また、地域の観光や交通に関する情報提供や物産品販売も行われている。

「食」関係イベントの開催



ホタテステーキ
(みなとオアシスもんべつ)

Sea級グルメ全国大会 (R5 125,000人)
(みなとオアシス沼津)

「花火大会」の開催



稚内みなと南極まつり (R1 15,000人)
(みなとオアシスわかかい)

「スポーツイベント」の開催



ちびっこトライアスロン大会 (R1 149人)
(みなとオアシス奈半利)

「体験学習」の開催



自然観察会 (R4 500人)
(みなとオアシス木更津)

「物資販売」の開催



ひろしまみなとマルシェ (R4 8,200人)
(みなとオアシス広島)

「コンサート」の開催



海の日コンサート (R4 70人)
(みなとオアシス室蘭)

「船舶見学会」の開催



尾道水道さくらクルーズ (H29 2,934人)
(サイクリングポートみなとオアシス尾道)

「フォーラム・セミナー」の開催



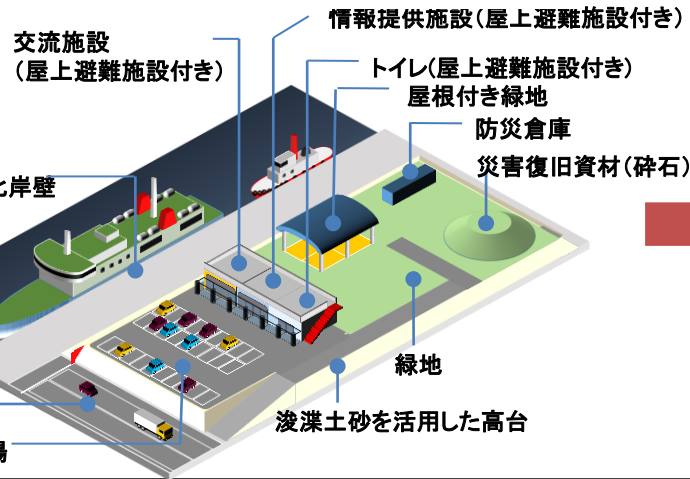
神戸みなとの知育楽座 (R5 531人/5回開催)
(みなとオアシスKOBE)

3-2-2. 「みなとオアシス」の活動状況(災害時)

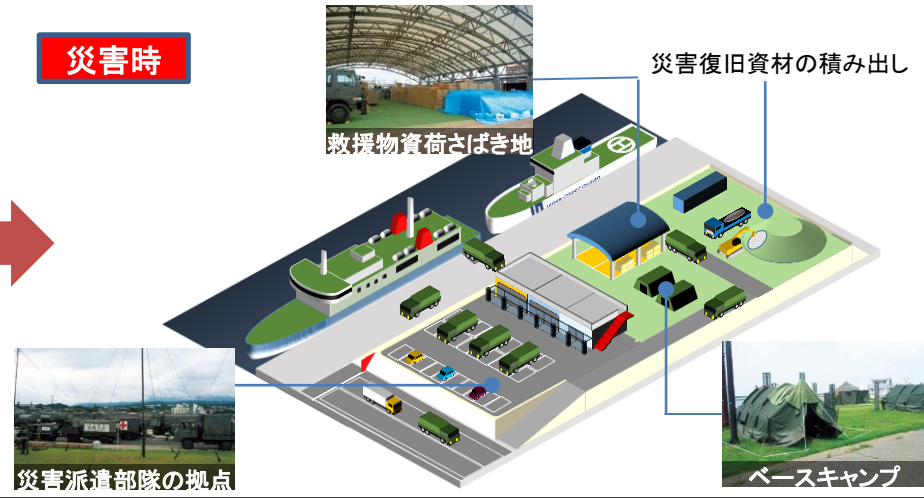
- 令和2年8月交通政策審議会答申「今後の港湾におけるハード・ソフト一体となった総合的な防災・減災のあり方」において、「みなとオアシス」を災害時に復旧・復興の拠点として機能する災害対応型「みなとオアシス」として位置づけ、資機材の保管等を行うとともに、これをネットワーク化して、広域的な災害対応を可能とする「みなとオアシス防災ネットワーク」の構築が位置づけられた。
- 令和6年能登半島地震では、みなとオアシスが仮設住宅用地やヘリポートなどに活用された。

「みなとオアシス」の災害時の活用イメージ

平常時



災害時



みなとオアシス輪島マリンタウン 構成施設
交流拠点施設 (輪島キリコ会館駐車場) 及びマ
リンタウン競技場
→仮設住宅設置場所として利用



みなとオアシス輪島マリンタウン 構成施設
マリンタウン競技場
→臨時ヘリポートとして利用



みなとオアシス金沢港 構成施設
無量寺ふ頭 ※災害支援機能
→支援物資輸送船接岸



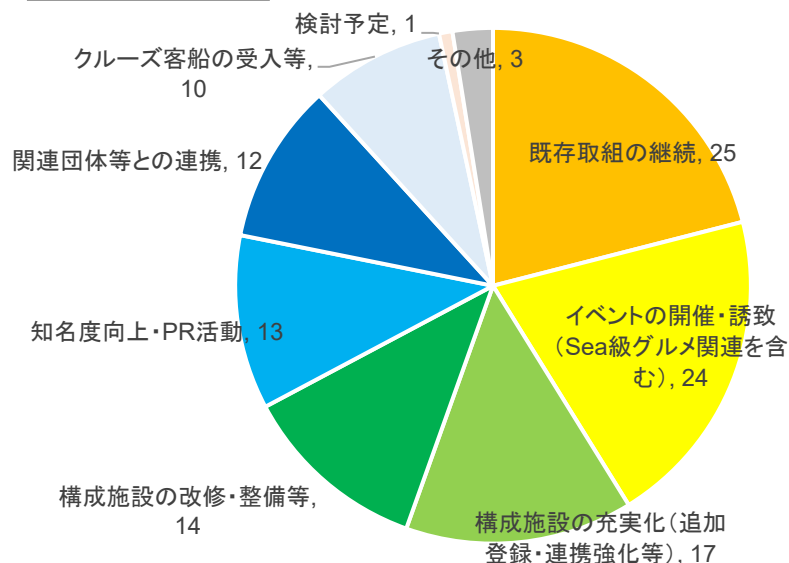
R6年能登半島地震における活用事例

3-3. 「みなとオアシス」の活動に関する課題等

- みなとオアシス年間活動報告書に基づき、各運営者がみなとオアシスにおいて、各種取組を行う上での課題等を把握した。
- 「長期的な構想や注力している取組」としては、既存取組の継続のほか、イベントの開催や構成施設の充実化を挙げる意見が多かった。
- 「課題や要望等」としては、構成施設の改修・維持管理、知名度向上、活動資金の不足などを挙げる意見が多かった。

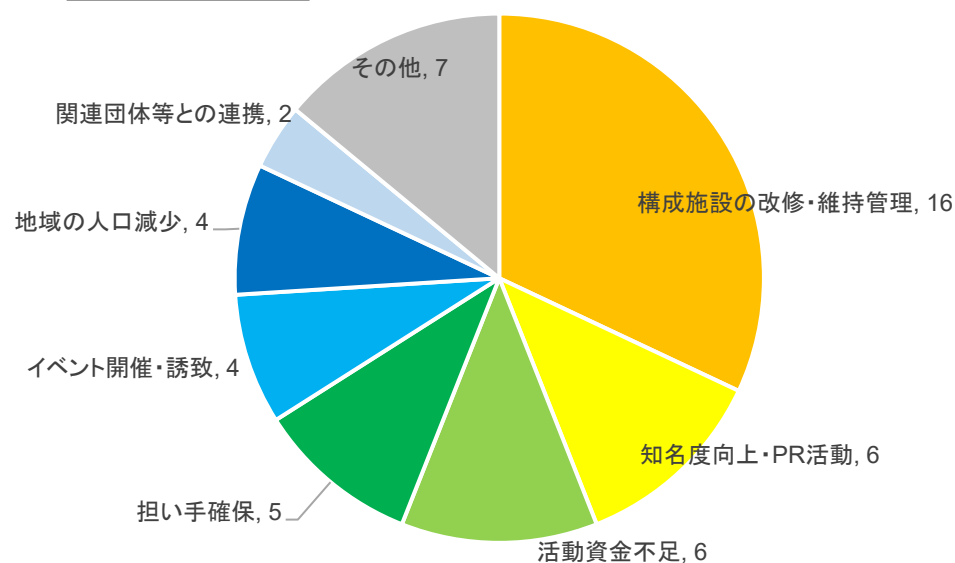
長期的な構想や注力している取組等

(全国) N=91



課題や要望等

(全国) N=41



- ・複数回答あり
- ・回答者：みなとオアシス設置者
- ・回答率：100% (みなとオアシス160箇所)

資料：みなとオアシス年間活動報告書(令和5年度)より

3-4. 「みなとオアシス」への支援

- 国は、「みなとオアシス」への支援として、設置者や運営者への情報共有、助言を実施している。
- その他、知名度向上やPR活動に対する支援も実施している。
- 「みなとオアシス」を構成する緑地や浮桟橋などの港湾施設や訪日外国人の受入環境の高度化などの整備に対して、国の補助金等の活用が可能となっている。

○ 具体的支援メニュー

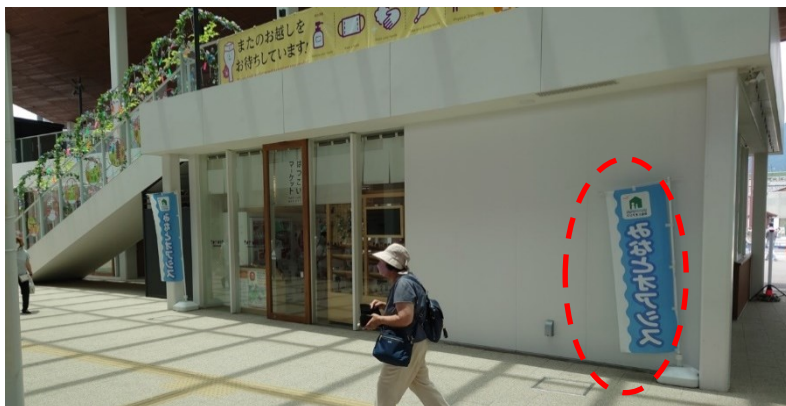
- ① みなとオアシス(設置者・運営者)に対する助言・情報共有・支援
- ② 知名度向上・PR活動
 - ・みなとオアシスの位置、名称等の各種地図への掲載
 - ・みなとオアシス Sea級グルメ全国大会の運営に向けたサポート
- ③ 各種補助制度の活用
 - みなとオアシスを構成する
 - ・緑地や浮桟橋などの港湾施設
 - ・訪日外国人の受け入れ環境の高度化 など

3. 「みなとオアシス」の実施状況

3-4-1. 「みなとオアシス」への支援事例(みなとオアシスの標章の利用)

- みなとオアシスでは、構成する主要な施設の見やすい場所に「標章」を掲示している。
- また、標章は、道路案内板への使用も可能となっており、みなとオアシスのPRに活用されている。

構成施設への標章の使用



みなとオアシスみやじま・みやじまぐち



みなとオアシス瀬戸田

道路案内板への使用



みなとオアシス海王丸パーク
(伏木富山港 臨港道路)



みなとオアシスマリンパーク新居浜
(新居浜港 臨港道路)

3. 「みなとオアシス」の実施状況

3-4-2. 「みなとオアシス」への支援事例(みなとオアシスの位置、名称等の各種地図への掲載)

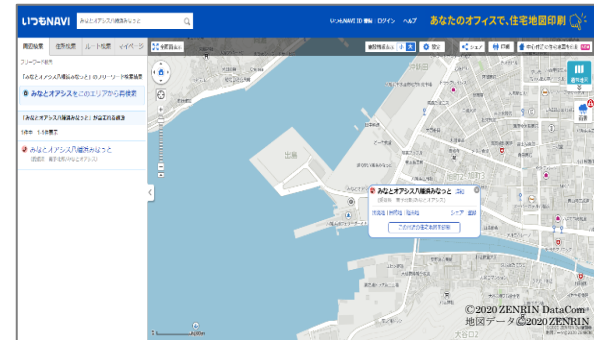
- 国土地理院が提供する「地理院地図」や(株)ゼンリンデータコムが提供する地図情報サイト「いつもNAVI」など、WEB地図データへみなとオアシス情報を追加する等、知名度の向上を行っている。
- 上記により、地図データに登録されることから、その地図データを活用するカーナビや地図アプリに反映され、更なる知名度向上が見込まれる。

国土地理院が提供する「地理院地図」に令和元年5月から
みなとオアシスを構成する位置、名称等を掲載

「地理院地図」 <https://maps.gsi.go.jp/>



(株)ゼンリンデータコムが提供するWEB地図情報サイト
「いつもNAVI」に掲載



Yahooが提供するスマホアプリ「Yahoo!カーナビ」に
みなとオアシス情報が掲載



3. 「みなとオアシス」の実施状況

3-4-3. 「みなとオアシス」への支援事例(みなとオアシス Sea級グルメ全国大会の運営に向けたサポート)

- 「みなとオアシスSea級グルメ」は、「みなとオアシス」が位置する地元の食材や地産地消される名産品を用いて作られた、地元の人たちにも親しまれる、水産物を活かした「ご当地グルメ」である。
- 平成23年度より、「みなとオアシス全国協議会」と「開催地における大会運営の責任者である実行委員会」が主催して、「Sea級グルメ」を全国各地から集め、来場者投票でNo1が決定するイベントを開催している。
- これまで多くの来場者があり、地元マスメディアでとりあげられることから、みなとオアシスの認知向上が期待される。

「第15回みなとオアシスSea級グルメ全国大会in境港」

(開催場所) 鳥取県境港市
(開催日) 令和6年11月9日(土)・10日(日)
(主催) みなとオアシスSea級グルメ全国大会in境港実行委員会、
みなとオアシス全国協議会
(出品数) 32品
(来場者) 約5万6千人



当日の現地の様子



「グランプリ」 ホタテステーキ
みなとオアシスもんべつ



出店32団体記念撮影



「2位」浜田アンゴとノドグロの旨み焼売
みなとオアシス浜田



○過去の開催状況

開催場所			優勝メニュー(みなとオアシス)
第1回	H23	みなとオアシス三原(広島県三原市)	たまの温玉めし(みなとオアシス宇野)
第2回	H24	いわき小名浜みなとオアシス(福島県いわき市)	ジャンボ! いわきカジキメンチ(いわき小名浜みなとオアシス)
第3回	H25	みなとオアシス苫小牧(北海道苫小牧市)	じゃこカツ(みなとオアシス八幡浜みなと)
第4回	H25	みなとオアシスカンたん港園(大分県大分市)	たまの温玉めし(みなとオアシス宇野)
第5回	H26	みなとオアシス瀬戸田(広島県尾道市)	多幸のめし(みなとオアシス瀬戸田)
第6回		みなとオアシスみやこ(岩手県宮古市)	真崎焼き(みなとオアシスみやこ)
第7回	H27	みなとオアシスとば(三重県鳥羽市)	サメ春巻き(みなとオアシスとば)
第8回		みなとオアシス宇野(岡山県宇野市)	たまの温玉めし(みなとオアシス宇野)
第9回	H28	みなとオアシスがまごおり(愛知県蒲郡市)	たまの温玉めし(みなとオアシス宇野)
第10回	H29	みなとオアシス魚津(富山県魚津市)	魚津バイ飯(みなとオアシス魚津)
第11回	H30	みなとオアシスもんべつ(北海道紋別市)	ホタテみそ焼きうどん(みなとオアシスもんべつ)
第12回	R1	みなとオアシス佐渡両津(新潟県佐渡市)	ブリ玉丼(みなとオアシス佐渡両津)
第13回	R4	みなとオアシス八幡浜みなと(愛媛県八幡浜市)	ホッキしゅうまい(みなとオアシス苫小牧)
第14回	R5	みなとオアシス沼津(静岡県沼津市)	ホタテステーキ(みなとオアシスもんべつ)
第15回	R6	みなとオアシス境港(鳥取県境港市)	ホタテステーキ(みなとオアシスもんべつ)

※令和2及び3年(開催予定地: みなとオアシス境港(鳥取県境港市))は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、中止となった。

3-4-4. 「みなとオアシス」への支援事例(各種補助制度の適用)



4. 「みなとオアシス」の評価

4-1. 評価対象と評価手法

評価にあたって、まずは既存資料に基づき課題等を整理し、改めてみなとオアシス設置者・運営者へのアンケート及びヒアリング調査調査を行い課題を確認し、評価結果に反映する。

4-1-1. 評価対象

○ 評価対象は、「みなとオアシス制度」である。

4-1-2. 評価手法（アンケート・ヒアリング調査による分析・評価）

- みなとオアシス設置者から提出されている「みなとオアシス活動報告書」から各種取組を行う上での課題等を整理し、アンケート項目を検討する。
- アンケート及びヒアリング調査により、みなとの賑わいの創出に向けた手法や支援策、体制等の課題を確認する。
- その際、設置者、運営者、利用者にとって、みなとオアシスの魅力が大きくなり、より賑わい創出につながる制度となるためのポイントを明確にする。

（アンケート）

調査時期：令和6年8月13日～8月30日

調査対象：全みなとオアシスの設置者・運営者（令和6年8月末時点みなとオアシス登録箇所：164箇所 ※「因島・上島」1箇所としてカウント）

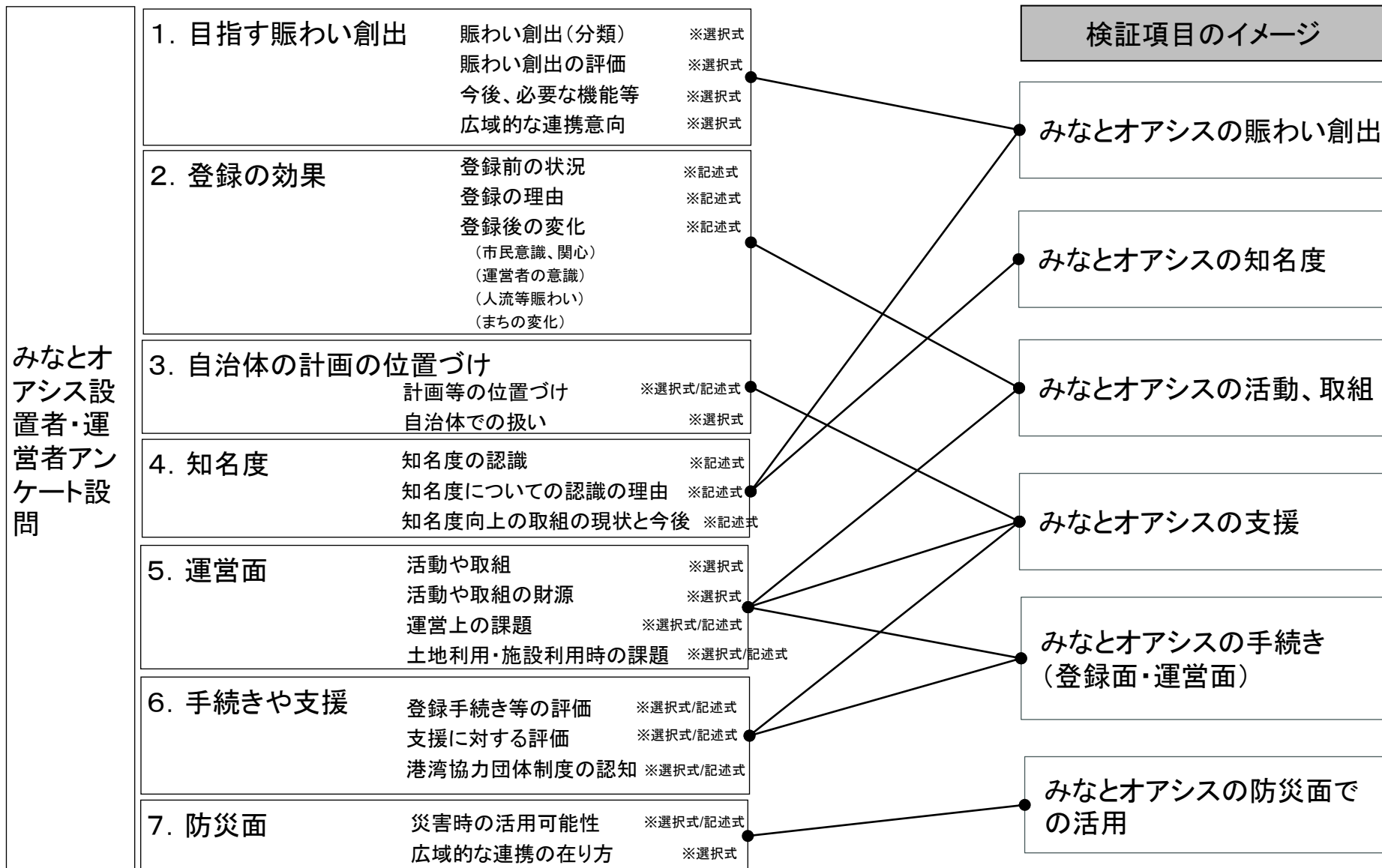
回答数：165（「因島・上島」を設置者2団体からの回答としてカウント）

（ヒアリング）

調査時期：令和6年10月15日～11月1日

調査対象：アンケート調査を行ったもののうち、深掘りして回答を確認したいみなとオアシスの設置者・運営者（13箇所）

調査の全体像(アンケート設問と検証項目)



4-2-1. アンケート調査結果 (1) みなとオアシスの賑わい創出

1) みなとオアシス知名度についての認識

- 『各みなとオアシスの知名度に関する認識』についてアンケートを実施
- 知名度が低いと認識の理由の多くは、“みなとオアシスとしてのPR不足”であり、それ以外は、
 - ・オアシスの名称がもつ具体的なイメージがわきづらい
 - ・道の駅のように名称自体で場所や施設をイメージできるものではない
 - ・一般人は港に深くかわからないため、港の情報が少なく興味がない
 - ・登録が地域にとってどのようなメリットをもたらすのかが分かりづらい 等

設置者等が認識する各みなとオアシスの知名度に関する回答例

知名度についての認識	左記の認識についての理由
みなとオアシスの知名度は低い	みなとオアシスとしての知名度向上よりも各構成施設は、設置目的に添った利活用の促進が求められており、(当みなとオアシスは活動の「きっかけ」づくりとしての役割を果たしている。)
それぞれの構成施設は認知度が高いが、みなとオアシスそのものの名前はあまり知られていないと認識している	例えば、道の駅のように名称自体で場所や施設をイメージできるものではない。構成施設が建物や公園、商業施設など様々)ため、それぞれの施設がみなとオアシスであるという認識が深まらないと思う
以前よりは上がっているが、まだまだ知名度はない。	PR不足
構成施設自体は知られているが、みなとオアシスとしては知られていない。	みなとオアシスとしてのPRが不足しているため。
みなとオアシスの名前が知られていない	みなとオアシスのPRが不足している
みなとオアシスの名称が知られていない。	オアシスという名称が持つ具体的なイメージが湧きづらい。
みなとオアシスの存在があまり知られていない。	・登録が令和2年であり、コロナ禍であったこともあり登録当初からイベント等開催できておらず、令和4年度からイベント等を実施しているため。
みなとオアシスの名前は知られてきていると感じる。	Sea級グルメでの優勝や、年に数回イベント等を行いチラシ等を折込みしているため。
みなとオアシスの名前が知られていない	港と共に発展した街以外では、一般人は港に深く関わらないため、港の情報が少ないし興味を持たないなど
具体的なデータはないが、知名度は非常に低いと感じる。	・みなとオアシスのPRが不足している ・みなとオアシスがどのような施設か、一般市民に伝わりづらい
みなとオアシスの名前が知られていない	異なる用途の施設をみなとオアシスに設定しているため、一般の人から見るとみなとオアシスがどういうものか分かりにくいと思われる。 施設利用者がみなとオアシスであることを知る機会、必要性が少ない、知らなくても施設にアクセスでき、利用できしてしまう。

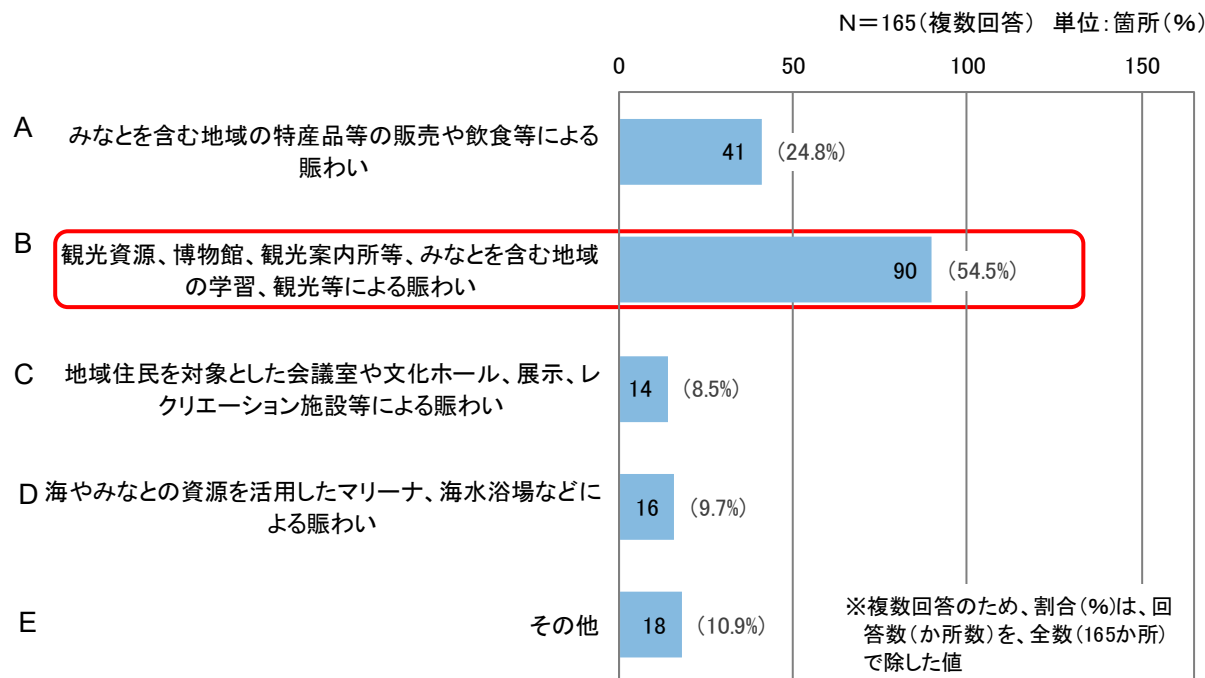
凡例: 知名度が低い回答 知名度が上向いている回答 PR不足に関する回答 知名度が低い理由に関する回答

4-2-1. アンケート調査結果 (1) みなとオアシスの賑わい創出

2) 賑わい創出の形態(分類)

- 『各みなとオアシスの賑わい創出の形態』について以下のA～Eのいずれに該当するのかアンケートを実施
- 「観光資源、博物館、観光案内所等、みなとを含む地域の学習、観光等による賑わい」が90箇所、54.5%と、唯一過半数を超えた。
- 「みなとを含む地域の特産品等の販売や飲食等による賑わい」が41箇所、24.8%と続く。

設置者等が認識する各みなとオアシスの賑わい創出の形態(分類)

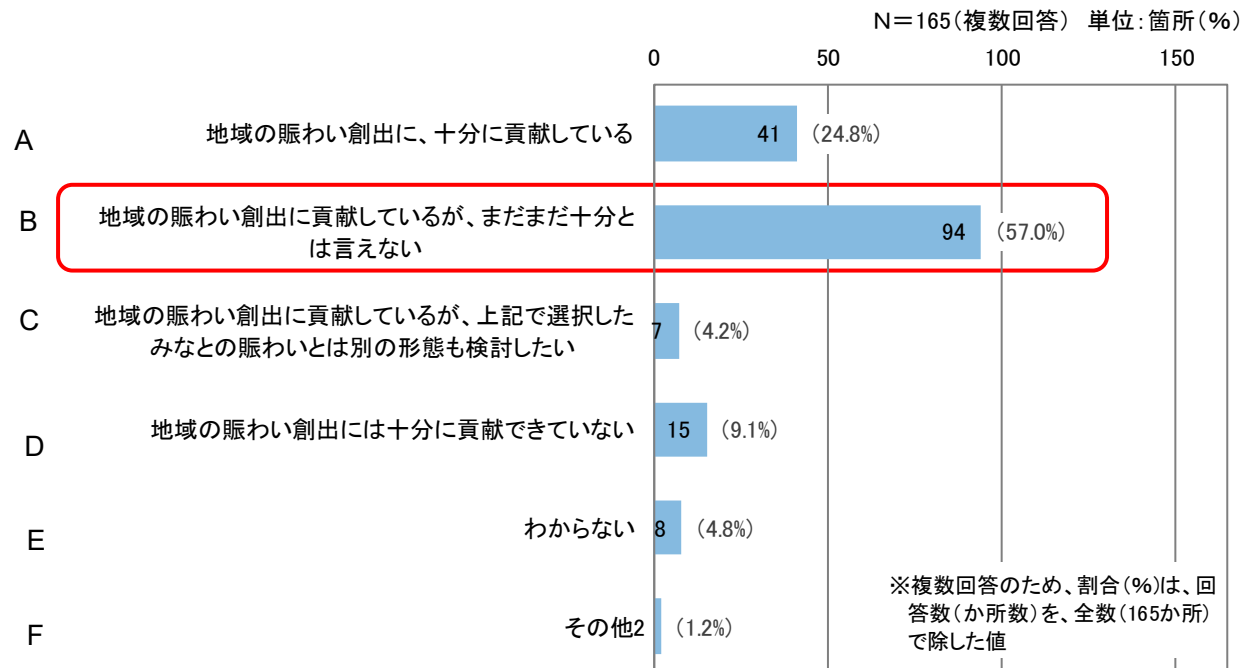


4-2-1. アンケート調査結果 (1)みなとオアシスの賑わい創出

3) 地域への貢献(設置者等の評価)

- 『各みなとオアシスの賑わい創出による地域への貢献(評価)』について以下のA～Fのいずれに該当するのかアンケートを実施
- 「地域の賑わい創出に貢献しているが、まだまだ十分とは言えない」が94箇所、57%と、唯一過半数を超えている。
- 「地域の賑わい創出に、十分に貢献している」が41箇所、24.8%、「地域の賑わい創出に貢献しているが、上記で選択したみなとの賑わいとは別の形態も検討したい」7箇所、4.2%。
- よって、8割以上のみなとオアシスでは、地域の賑わい創出に貢献していると認識している。
- 「地域の賑わい創出には十分に貢献できていない」は15箇所、9.1%。

設置者等が認識するみなとオアシスの賑わい創出による地域への貢献



4-2-1. アンケート調査結果 (2) みなとオアシスの知名度

1) 知名度向上の取組と今後の取組

- 『各みなとオアシスにおける知名度向上の現状と今後の取組』についてアンケートを実施
- 知名度向上のために取り組んでいることは、「標章(シール)の貼付」、「登録認証の貼付」、「幟、看板、案内板の設置」、「ホームページの設置あるいは掲載」、「パンフレット等の作成、配布」、「みなとオアシスの名のイベントの実施とイベント時の配架(陳列)」に取り組んでいる。

みなとオアシス知名度向上の現状と今後の取組の回答例

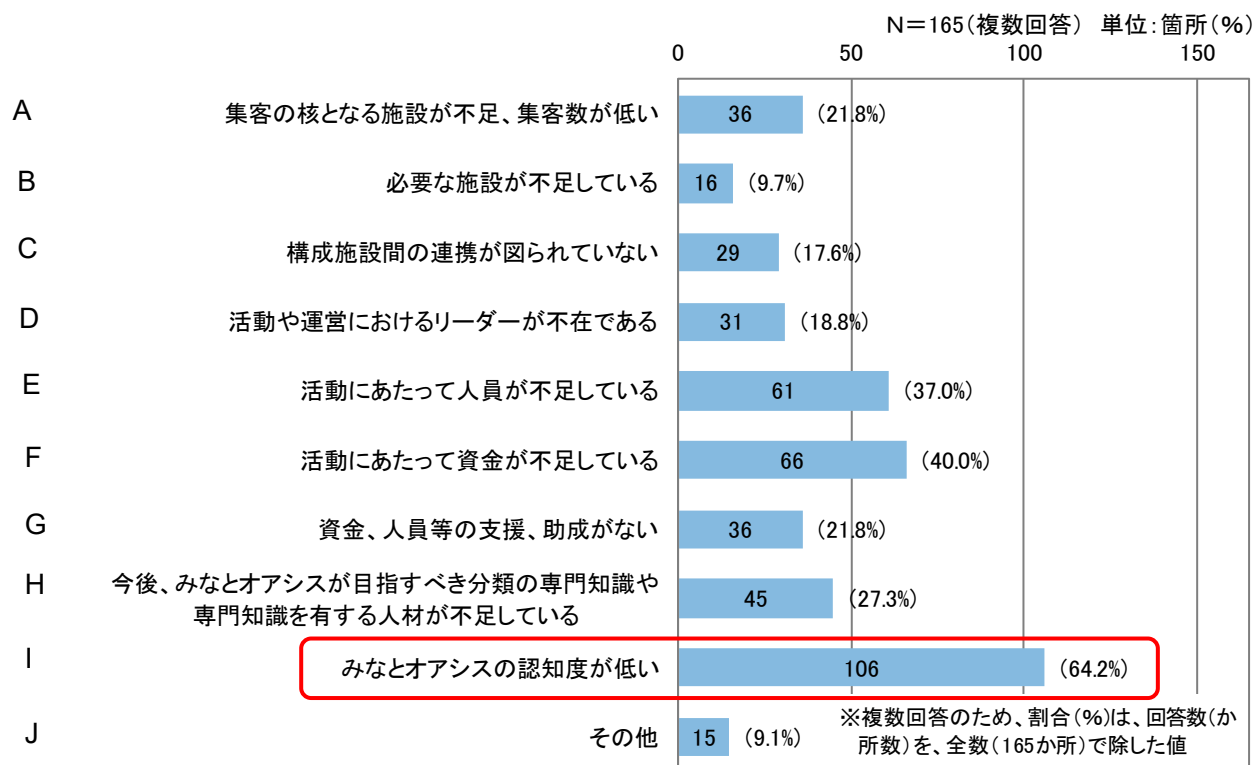
知名度向上のために取り組んでいること	今後、知名度向上のために取り組むこと
・みなとオアシス登録認証の貼付 ・みなとオアシスの看板、案内板の設置 ・みなとオアシス運営協議会の主催事業の実施	地道な活動の継続
・構成施設におけるピンバッジの販売、パンフレット等の作成配布など	現在取り組んでいることの継続と、イベントの積極的な展開
・みなとオアシス標章の貼付 ・幟、看板、案内板の設置	Sea級グルメのご当地化
みなとオアシス標章(シール)の貼付。	みなとオアシス標章などを各種媒体に掲載し、露出を増やす。
・みなとオアシス標章(シール)の貼付 ・みなとオアシスの案内標識の設置	検討中
・クルーズ船寄港時に、岸壁にてみなとオアシスの幟を設置 ・みなとオアシス協議会Face bookでの活動PR ・他団体主催のイベント等への協力による知名度向上	左記の取り組みをさらに拡充していく
・みなとオアシス標章(シール)の貼付 ・みなとオアシス登録認証の貼付 ・みなとオアシスの幟、看板、案内板の設置 ・市HPにみなとオアシスのページを作成 ・パンフレット、チラシの作成と配布 ・みなとオアシス名のイベントの実施 ・管内のオアシスと連携したグッズの販売 ・みなとオアシスSea級グルメの登録	Sea級グルメのPR
・みなとオアシスの看板設置 ・イベント時のチラシの作成、折込 ・イベントの実施	イベントチラシのみなとオアシスの強調

4-2-1. アンケート調査結果 (2)みなとオアシスの知名度

2)運営上の課題

- 『各みなとオアシスにおける運営上の課題』について以下のA～Jのいずれに該当するのかアンケートを実施
- みなとオアシスの運営上の課題では、「みなとオアシスの認知度が低い」が最も多い。

各みなとオアシスにおける運営上の課題



4-2-1. アンケート調査結果 (2)みなとオアシスの知名度

3)みなとオアシス知名度についての認識【再掲】

- 『各みなとオアシスの知名度に関する認識』についてアンケートを実施
- みなとオアシス登録後について、地域住民や市民等のみなとやみなとまちづくりなどに対する意識については、“名前が知られつつある”、“イベントを通じて地域住民の認知度はある”、“知名度が向上しつつある”との肯定的意見もみられる。
- 全体的には、“知名度が低い”、“名前が知られていない”等、知名度がない、との意見が多数を占めている。

設置者等が認識する各みなとオアシスの知名度に関する回答例

知名度についての認識	左記の認識についての理由
みなとオアシスの知名度は低い	みなとオアシスとしての知名度向上よりも各構成施設は、設置目的に添った利活用の促進が求められており、(当みなとオアシスは活動の「きっかけ」づくりとしての役割を果たしている。)
それぞれの構成施設は認知度が高いが、みなとオアシスそのものの名前はあまり知られていないと認識している	例えば、道の駅のように名称自体で場所や施設をイメージできるものではない(構成施設が建物や公園、商業施設など様々)ため、それぞれの施設がみなとオアシスであるという認識が深まらないと思う
以前よりは上がっているが、まだまだ知名度はない。	PR不足
構成施設自体は知られているが、みなとオアシスとしては知られていない。	みなとオアシスとしてのPRが不足しているため。
みなとオアシスの名前が知られていない	みなとオアシスのPRが不足している
みなとオアシスの名称が知られていない。	オアシスという名称が持つ具体的なイメージが湧きづらい。
みなとオアシスるもいの存在があまり知られていない。	・登録が令和2年であり、コロナ禍であったこともあり登録当初からイベント等開催できておらず、令和4年度からイベント等を実施しているため。
みなとオアシスの名前は知られてきていると感じる。	Sea級グルメでの優勝や、年に数回イベント等を行いチラシ等を折込みしているため。
みなとオアシスの名前が知られていない	港と共に発展した街以外では、一般人は港に深く関わらないため、港の情報が少ないし興味を持たないなど
みなとオアシスであることがあまり認知されていない。	近年、みなとオアシス運営協議会が開催できておらず、活動も少ないため。
みなとオアシスの名前が知られていない。	みなとオアシスのPRが不足している

4-2-1. アンケート調査結果 (3) みなとオアシスの活動・取組

1) みなとオアシスの主な活動、取組

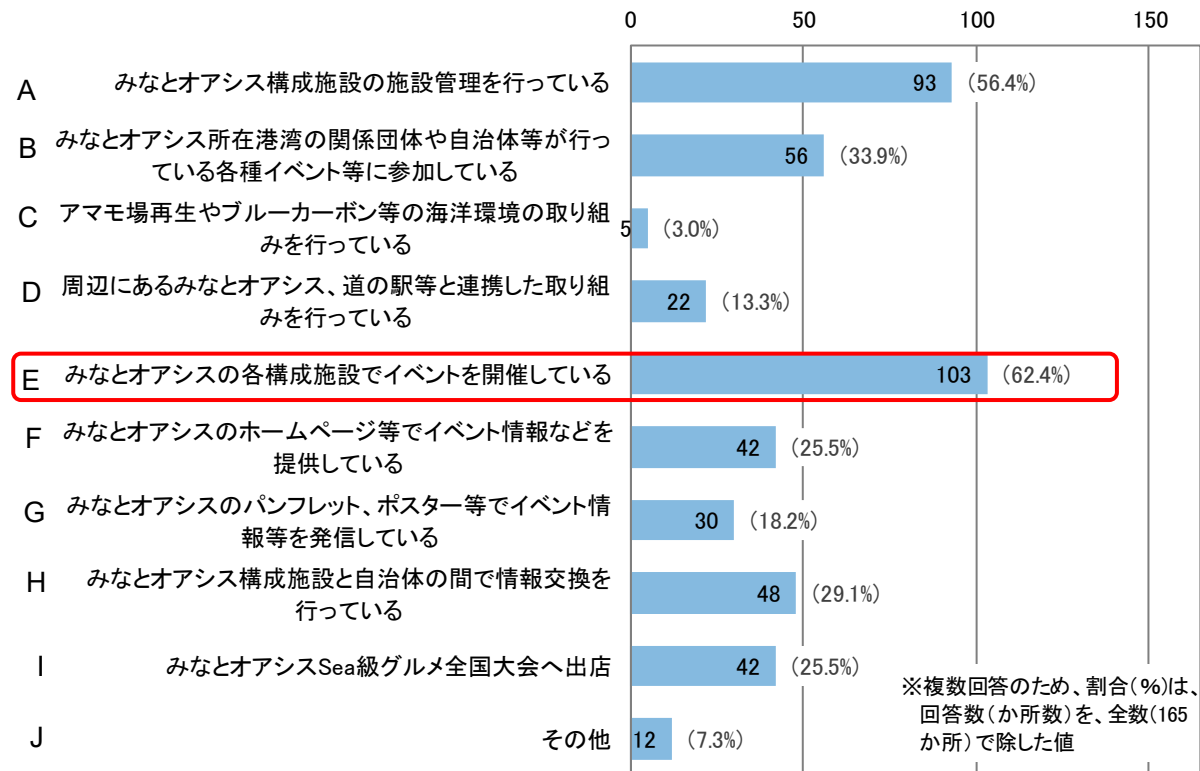
● 『各みなとオアシスの主な活動、取組』の実施状況について以下のA～Jのいずれに該当するのかアンケートを実施

○ 「みなとオアシスの各構成施設でイベントを開催している」が103箇所、62.4%、「みなとオアシス構成施設の施設管理を行っている」が93箇所、56.4%の2つの活動等が抜きんでいる。

○ 「みなとオアシス所在港湾の関係団体や自治体等が行っている各種イベント等に参加している」が56箇所、33.9%、「みなとオアシス構成施設と自治体の間で情報交換を行っている」が48箇所、29.1%、「みなとオアシスのホームページ等でイベント情報などを提供している」、「みなとオアシスSea級グルメ全国大会へ出店」がそれぞれ42箇所、25.5%と続いている。

各みなとオアシスの主な活動、取組の実施状況

N=165(複数回答) 単位: 箇所(%)



4-2-1. アンケート調査結果 (3)みなとオアシスの活動・取組

2) みなとオアシスの登録前の状況と登録の理由

- 『各みなとオアシス登録前のみなとの状況と登録理由』についてアンケートを実施
- みなとオアシス登録前のみなと等の状況は、市民等が近づきやすい空間となっておらず、楽しめる施設やみなとの関心を高めるような施設もなく、背後のまちとの連携や回遊性がなかったこと等があげられている。
- そのため、みなとオアシス登録理由として、登録前の状況を改善することで、地域の協力等により新たな賑わいの創出、交流人口の確保、市民のみなとの関心等意識を喚起する等をあげている。

各みなとオアシス登録前のみなとの状況と登録理由に関する回答例

登録前のみなとを含めた地域の状況	登録の理由
市民・観光客にみなとの関心を高めるような機会がなかった。	周辺施設等を活用して市民や観光客が参加、交流できるにぎわいのある事業を展開し、活動を通じてみなとの関心を高めるとともに、親しみやすい港づくりを進めていくため。
臨海部の多くが埠頭や工業用地として埋め立てが進められてきたため、市民が水際線に近づきやすい空間となっていない。	港湾施設等を核とした地域の賑わいを、地域との協力により作り出すこと。
みなとを含む地域に地域住民、観光客等が気軽に立ち寄れる場所(施設)がなかった。	周辺エリアが一体となってPR活動を行い、港の認知度向上のため
集客施設が多数立地する一方、「海」や「港」を楽しむことができる空間が限定的であった。また、施設間の回遊性が乏しかった。	「海」や「港」を活かした景観整備、回遊性の向上、各施設が連携したイベントの開催等により、発信力のある賑わい拠点へと成長させるため。
海の玄関口として、また賑わいや憩いの感じられる親水空間として整備されたものの、市内外へ十分認知されておらず、また、地区内の既存商業施設や市民との連携が不足しており、地区全体として地域振興が図られていない状況。	みなとオアシスを活用することで、みなとを核とした地区内各施設と市民による一体的なまちづくりの取組みが推進され、海辺の魅力や価値の向上を図るとともに、市民の海辺への愛着や意識の喚起を促すことで「市らしさ」を確立・推進・浸透させる。
既存市街地における観光資源や各種事業により整備された観光交流等の拠点、空港とみなと地域との連携や機能分担による滞在交流型のまちづくりにより、地域の活性化が求められていた	みなと地域を市街地周遊観光や地域交流の拠点として位置づけることにより、新たな観光交流人口の確保やまちなかにおける賑わいの創出を図るため
市民が海と近づきかけが少なく港の賑わいが乏しかった	多様な市民活動の場所としての利活用を図るため、地区周辺の港湾施設活用推進を図るため 港湾エリアに新たな観光拠点を設け、海のまちづくりを推進するため 緑地等オープンスペースを災害時の防災拠点として活用し、市民の安全確保を図るため
みなとを含む地域一体の施設の連携が不足していた	地域一体の観光の振興や地域住民の交流を促進し、地域の活性化を図るため
行政のほか、地元団体が港周辺でそれぞれイベント等を行っていたが、別個での活動が主であり、発信力が不足していた。	クルーズターミナルと港周辺地域が、みなとオアシス制度を活用して連携を強化し、互いの主催イベントを連動させ、クルーズターミナルと港周辺地域の間の人の流れを作ることで、①クルーズターミナルの賑わい拠点性の一層の向上、②クルーズターミナルを核とした港及び港周辺地域の一層の賑わい創出に取り組むため。
各施設が個別にイベント等の賑わいを創出していた。(面的な展開が今以上に希薄だった)	近隣で開催されたSea級グルメ全国大会を開催したいという当時の想いから、登録に至った。

凡例: ■ みなとオアシス登録前のみなとの状況に関する回答 ■ 登録の理由に関する回答

4-2-1. アンケート調査結果 (3)みなとオアシスの活動・取組

3)みなとオアシス登録の効果(イベント等の提供側の認識)

- 『各みなとオアシス登録の効果(イベント等の提供側の認識)』についてアンケートを実施
- みなとオアシス登録後、イベント等を企画実施して、市民などに提供する企画実施側の意識についてみると、イベントを共同して実施することで、設置者や構成団体等との情報交換や、コミュニケーションがとりやすくなった。また、このことを通じてみなとまちづくり等の意識が高まった等とする回答がみられる。

各みなとオアシス登録の効果(イベント等の提供側の認識)に関する回答例

イベント企画、提供側の意識について
設置者の意識は高まっている。イベント企画者との連携も強くなっている。
みなとオアシスの活動を通じて、構成団体とのコミュニケーションが取りやすくなった
協議会員同士の連携、つながりによる情報交換や人的支援などにより、イベント活動の充実を図ることができた。
構成施設とその周辺では、多くのイベントが行われている。
周辺の再開発事業は、令和7年度完成を目標に進めており、現在みなとオアシスの活動は限定的であるため、完成後に状況を確認していきたい。
みなとオアシス協議会の活動を通じて、会員のみなとまちづくりに関する意識等が高まってきている。
みなとと関連付けたイベント実施により、賑わいが創出されていると感じている。
構成施設間同志のコミュニケーションが取りやすくなった
変化は特に感じられない
他の港との交流を図っている。(フェリー航路先である港へイベント時の出張販売の実施等)
構成施設間同志のコミュニケーションが取りやすくなった
イベントを通じて、協力していただいた団体、事業者等のみなとまちづくりに対する意識が高まったと感じた。
みなとオアシスの活動やイベントを通じて、協議会の意識が高まったこと。
構成施設間で定期的に意見交換する機会が増えたことで、みなとまちづくりへの関心が深った感がある
登録時から特に変化はない。

凡例: ■ みなとオアシス登録による効果(イベント等の提供側の意識等)に関する回答 赤字 登録による変化がないとする回答

4-2-1. アンケート調査結果 (3)みなとオアシスの活動・取組

4) みなとオアシス登録の効果(みなとの賑わい創出、みなとまち周辺地域の変化)

- 『各みなとオアシス登録の効果(みなとの賑わい創出、みなとまち周辺地域の変化)』についてアンケートを実施
- みなとオアシス登録後、イベント実施やそれによる人流等の増加、賑わい創出等によって、「カフェや飲食店、スーパーやスポーツショップ等の商業施設、宿泊施設、公園などが立地、整備されてきた」、「施設の立地だけでなく、案内看板、無料wi-fi等も設置されてきた」、「イベント等も行われ、キッチンカー等も出店するようになった」等があげられた。

各みなとオアシス登録の効果(みなとの賑わい創出、みなとまち周辺地域の変化)に関する回答例

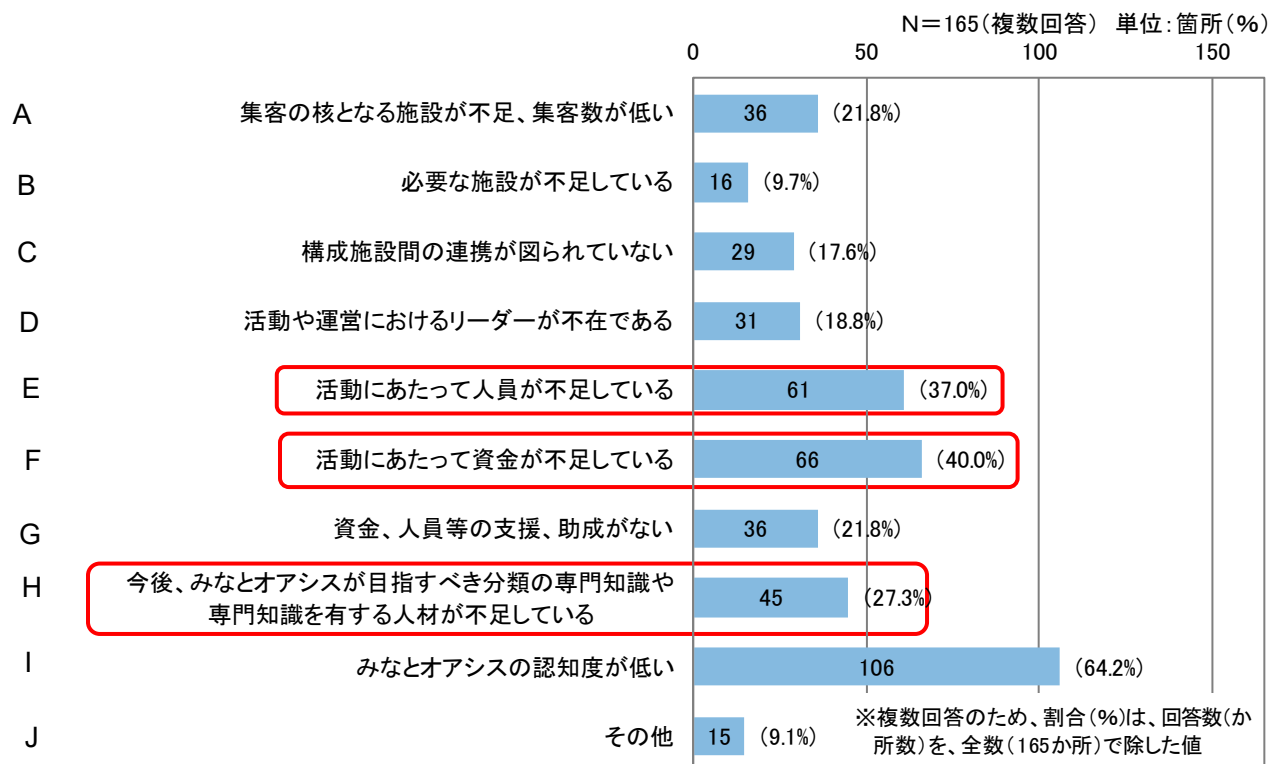
みなとの賑わい創出、みなとまち周辺地域の変化
みなとオアシス登録に伴う周辺地域の変化は感じられない
構成施設における集客イベント(音楽イベント等)の開催が行われた
多言語の案内看板による情報提供や、無料wi-fiの設置
観光地として、商業施設が建ち並び、賑わいを見せている。
周辺の再開発事業は、令和7年度完成を目標に進めており、現在みなとオアシスの活動は限定的であるため、完成後に状況を確認していきたい。
特段変化は感じていない。
管内のオアシスが連携し、みなとオアシス関連グッズを販売している。
港周辺に簡易宿泊施設が設けられた。
特になし
みなとから少し離れた構成施設において、みなとの魅力を紹介する掲示物を設置。
カフェの増加
港を中心に、カフェが出店するようになったほか、夏にはキッチンカーが何台か出店するようになった
みなとオアシスエリアが整備されことで各種商業施設立地してきた
オアシスで連携イベントを開催することで、中心商店街との連携も強化され、商店街への訪れる地域住民も少なからず多くなったと感じる。
イベントを行う事により、地元住民はもとより観光客にも周知され一定のにぎわいが創出されている。
地元住民・観光客ともに来訪者が増加しにぎわいが生まれた。
運営者側のイベント以外にも、大型イベントや地域イベントの会場として開催されることが多く、市の賑わいの場所として定着してきた感があります。

4-2-1. アンケート調査結果 (3) みなとオアシスの活動・取組

5) みなとオアシスの運営上の課題【再掲】

- 『各みなとオアシスにおける運営上の課題』について以下のA～Jのいずれに該当するのかアンケートを実施
- みなとオアシスの運営上の課題では、「活動にあたっての資金が不足している」66箇所、40%、「活動にあたって人員が不足している」61箇所、37%となっており、「専門知識を有する人材が不足している」45箇所、27.3%となっており、活動等における資金不足、人員不足を指摘している。

各みなとオアシスにおける運営上の課題

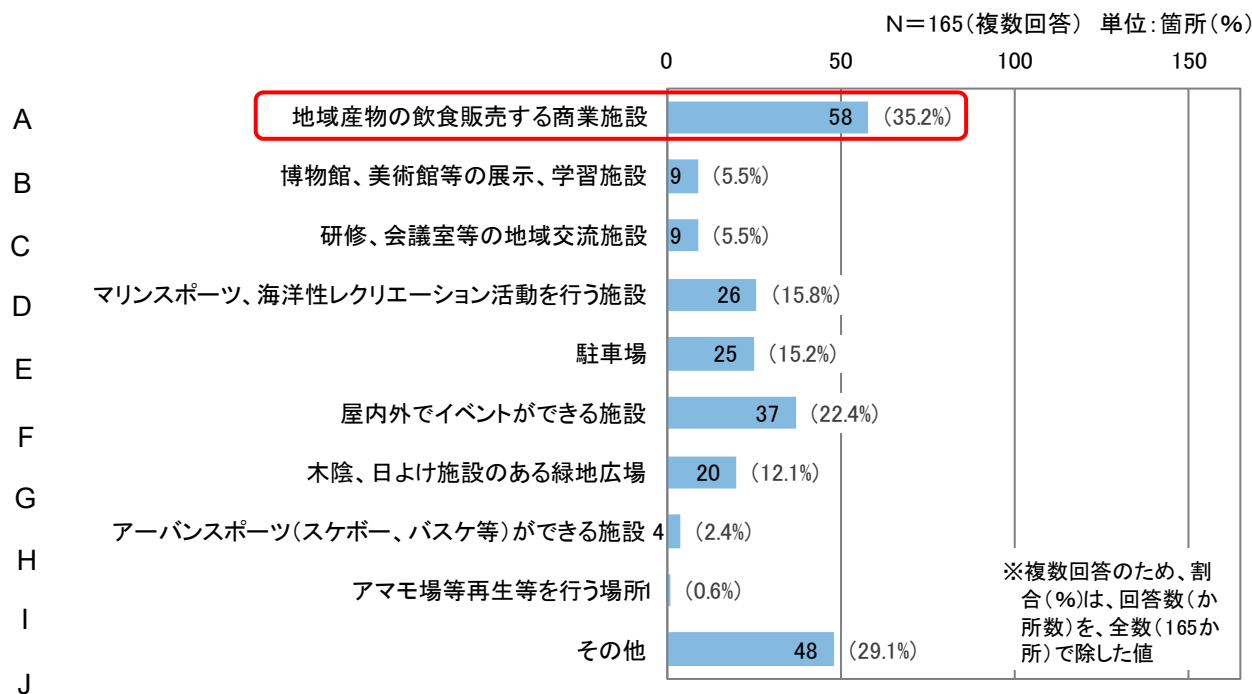


4-2-1. アンケート調査結果 (4)みなとオアシスの支援

1) 今後、目指す賑わい創出に向けて必要な施設、機能

- 『今後、各みなとオアシスにおける賑わい創出の姿に向けて必要な施設、機能』について以下のA～Jのいずれに該当するのかアンケートを実施
- 今後、目指すべき賑わい創出の姿に向けて、必要な機能や施設についてみると、「地域産物の飲食販売する商業施設」が58箇所、35.2%、「屋内外でイベントができる施設」が37箇所、22.4%、「マリンスポーツ、海洋性レクリエーション活動を行う施設」が26箇所、15.8%、「駐車場」が25箇所、15.2%と続いている。

今後、各みなとオアシスにおける賑わい創出の姿に向けて必要な施設、機能

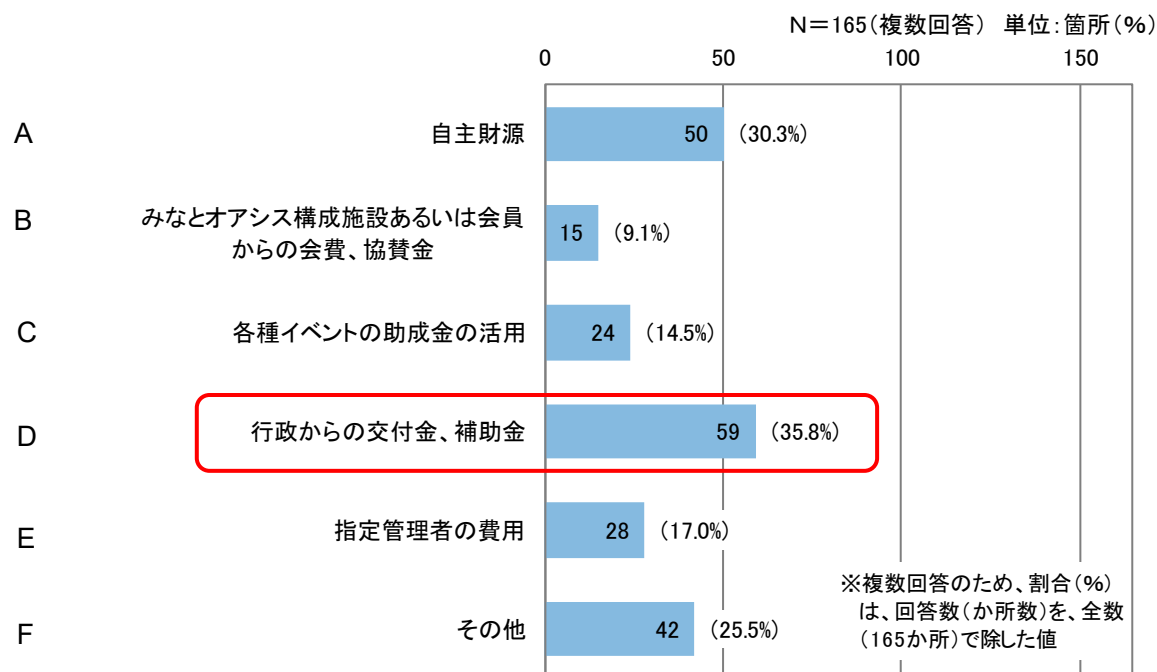


4-2-1. アンケート調査結果 (4) みなとオアシスの支援

2) みなとオアシスの活動、取組の財源

- 『各みなとオアシスの活動、取組の財源』について以下のA～Fのいずれに該当するのかアンケートを実施
- みなとオアシスの活動、取組についての資金源についてみると、最も多いのは、「行政からの交付金、補助金」が59箇所、35.8%、次いで、「自主財源」が50箇所、30.3%、を占めている。

各みなとオアシスの活動、取組の財源



4. 「みなとオアシス」の評価

4-2-1. アンケート調査結果 (4) みなとオアシスの支援

3) 支援等で強化すべき事項

- 『登録後の支援等で強化すべき事項』についてアンケートを実施
- 登録後の支援については、「施設の整備」や「施設の維持管理」などに係る支援を回答する所が多い。
- 次に、イベント等に活動や取組にかかる財政的支援であり、上記とともに、支援に関しては資金面を強化すべきとの回答が多い。

登録後の支援等で強化すべき事項の回答例

支援等で強化すべき事項
オアシス運営活動にかかる金銭的な支援
助成金等財源の支援
施設整備への支援
助成金制度の支援
施設の整備・維持に関する支援
施設整備・修繕・事業に関する定額または高率で使い勝手の良い補助制度
みなとオアシスとしてのネームバリューの強化(道の駅のような目的地となる施設としての周知)
登録時の状況が残っていない
知名度向上のためのイベントへの財政的支援
駐車場の一時使用等の手続きの簡素、施設整備への支援
施設整備への支援
施設整備やイベント実施等に対する補助メニューの創設
支援内容をわかりやすく周知する。
国が実施する積極的なPR
魚介類等の特産品を他自治体のみなとオアシスイベントでも販売するなどの連携支援。
施設整備への支援、及び運営への財政的支援

凡例: 赤字 施設整備等に関する回答 青字 手続き、PR、周知等のソフトな取組に関する回答 橙字 助成金等の財政的支援に関する回答

4-2-1. アンケート調査結果 (4)みなとオアシスの支援

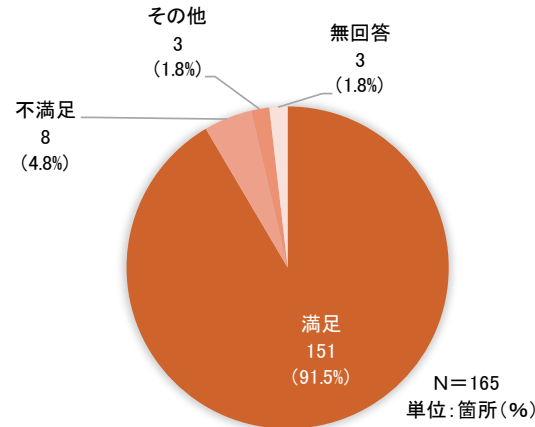
4)現状の支援に対する評価

● 『現状の各みなとオアシスにおける支援の評価』についてアンケートを実施

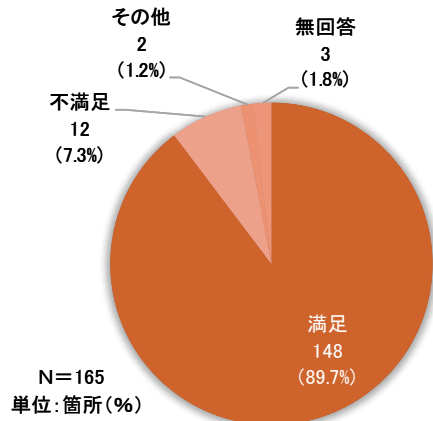
○ みなとオアシスの現状の支援である、「商標及び標章の無償使用」、「ホームページや広報誌への掲載」、「各種イベントでの紹介等の積極的PR」については、概ね満足としている。

現状の各みなとオアシスにおける支援の評価

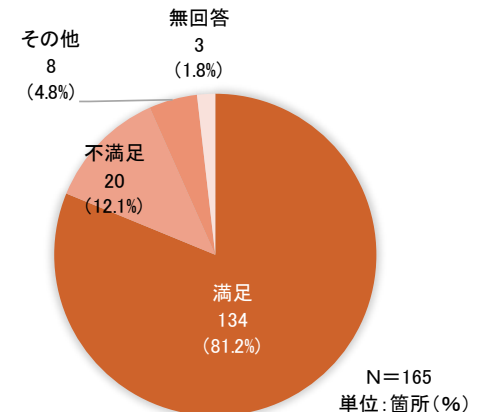
商標及び標章の無償使用



ホームページや広報誌への掲載



各種イベントでの紹介等の積極的PR



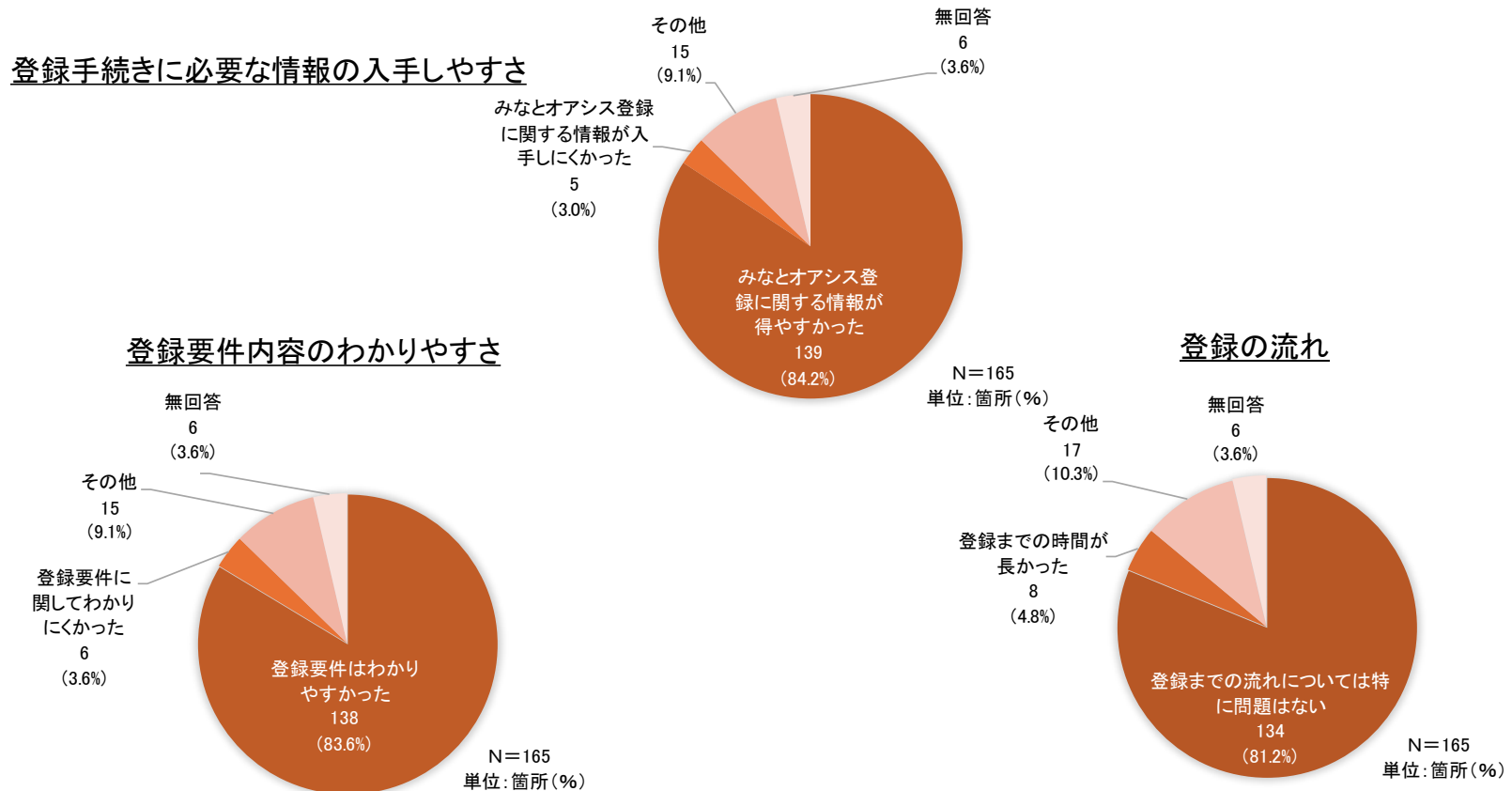
4-2-1. アンケート調査結果 (5) みなとオアシスの手続き(登録面、使用手続き面)

1) 現状の登録手続きに対する評価

● 『現状の各みなとオアシスの登録面の評価』についてアンケートを実施

○ みなとオアシスの登録にあたって、「登録手続きに必要な情報の入手しやすさ」、「登録要件内容のわかりやすさ」、「みなとオアシスの登録までの流れ」については、概ね問題はなかった。

現状の各みなとオアシスの登録面の評価

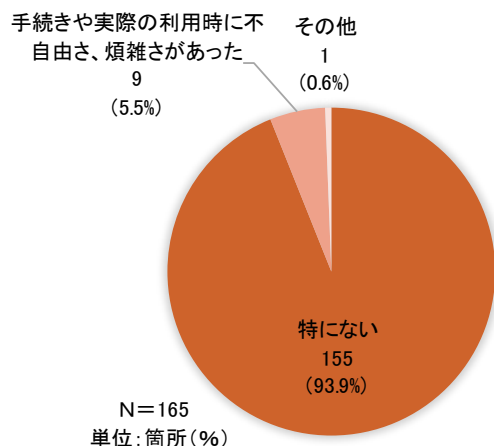


4-2-1. アンケート調査結果 (5) みなとオアシスの手続き(登録面、使用手続き面)

2) 土地利用・施設利用時の手続き等の課題

- 『土地利用・施設利用時の手続き等の課題』についてアンケートを実施
- 土地・施設利用者との手続き等についての課題についてみると、「特になし」とする回答が155箇所、93.9%と、ほとんどのみなとオアシスで「問題ない」としている。
- しかし、「手続きや実際の利用時に不自由さ、煩雑さがあった」と回答のあった内容については、港湾管理者や県有施設等の使用手続きに関して、“時間を要する”、“使用料を徴収する”、“他の利用との調整に時間がかかる”等の煩雑さを回答している。

土地利用・施設利用時の手続き等の課題



手続きや実際の利用時に不自由さ、煩雑さがあったと回答した例

施設	課題
公園(公共)	使用料を徴収と言われることがある。(港湾管理担当者によって見解が異なる)
緑地 ビーチ	以前、施設利用の申請を提出してから許可が下りるまで2か月程度かかることもあった。今年度においてはスムーズに許可がおりている。
港湾施設全般	みなとオアシス構成施設の大部分が県所有の土地であり、以下の課題がある ・利用申請書類や手続きが煩雑なことや手続きに時間を要することによるタイムリーなイベントの開催が困難 ・賑わい創出への理解不足による方針の不一致
(回答なし)	施設毎に管理者が異なるので、手続きの方法も統一されておらず、煩雑さなどに差がある。
緑地	臨港緑地での音楽イベント開催にあたり、条例上の規制があったが、現在は規制緩和され設置者の副申により実施できるようになった。
ビーチ	利用許可の際に、他利用予定との重複確認の手間や、場合によっては調整をする必要が生じる
栈橋	担当者の個人的見解により 使用許認可取得がばらつく

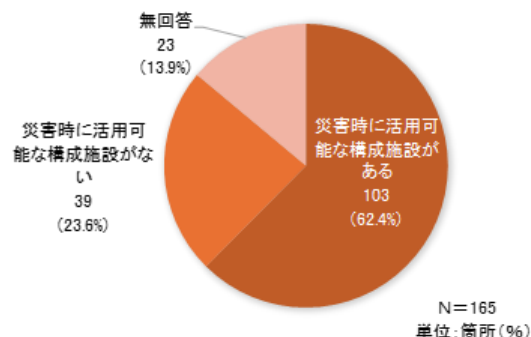
4-2-1. アンケート調査結果 (6) みなとオアシスの防災面の活用

1) みなとオアシスにおける防災面の活用

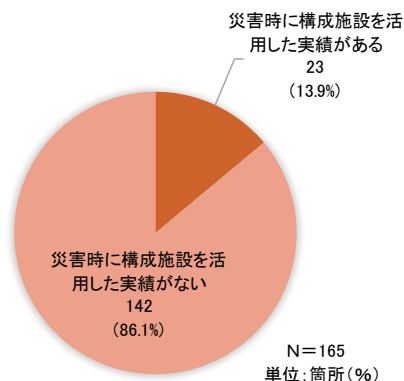
- 『各みなとオアシスにおける防災面の活用』についてアンケートを実施
- 災害時において、活用可能な構成施設数を回答したみなとオアシスは、103箇所、62.4%である。
- 活用可能な構成施設数は、162施設である。
- これまでの災害発生時において、みなとオアシス構成施設を活用したことのあるみなとオアシスは、23箇所、13.9%である。
- 防災訓練等においてみなとオアシス構成施設を活用したことのあるみなとオアシスは、51箇所、30.9%である。
- 災害時に活用可能であると考えている構成施設の活用可能な用途(一次避難、情報発信、緊急物資輸送、緊急物資保管等)については、活用可能な用途は、「一次避難」が90施設、「情報発信」が27施設、「緊急物資輸送」が49施設、「緊急物資保管」が35施設、そして「その他」が30施設である。

各みなとオアシスにおける防災面の活用

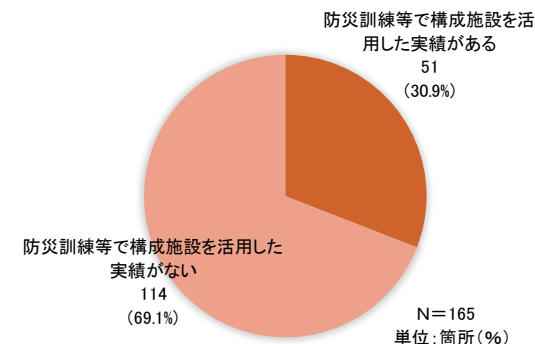
災害に活用可能な構成施設を
有するみなとオアシス



災害時に構成施設を活用した実績
が有するみなとオアシス



防災訓練等で構成施設を活用した実績
が有するみなとオアシス



4-2-2. ヒアリング結果

大項目	小項目	主な意見の概要
みなとオアシスが 目指す賑わい創 出	地域の賑わい創出 にまだ十分の貢献 していない理由	• みなと周辺の人たちには、当該エリアがみなとオアシスの一部であることをある程度認識できているが、市民全体で考えると広く認知されていない。 • 構成施設間の回遊性が十分ではなく、集客人数にも各構成施設間で隔たりがある。
	分類について	• <u>みなとオアシスがどんな施設であるかなかなか伝わりづらいと実感しており、4つの分類(特性)ごとに区分して、みなとオアシスを評価していくことは重要ではないか。</u>
みなとオアシス登録の効果の現状認識		• <u>みなと周辺に立地する企業や行政等が同じ方向を目指し、みなとオアシスの名のもと、みなとまちづくりに参加している。</u> • <u>新しい構成施設がオープンしたことにより来場者が増加。スタンプラリーなどを通じて、既存の構成施設にも、その集客効果を波及させている。</u>
みなとオアシスの 所在自治体の位 置づけ	取組等の予算化	• <u>「ウォーターフロントにおける賑わい創出」を自治体の総合計画に位置付けた上で、みなとオアシスを運営する予算を確保している。</u> • <u>イベントの開催あたり、所在自治体の予算を充当しているが、予算が不足する場合は地元企業へ協賛金を募り取組を継続している。</u>
みなとオアシスの知名度等		• <u>みなとオアシスでのイベントを継続に開催していくことが重要である。</u> • 急に知名度が上がることはないため、こつこつとやっていくしかない。 • <u>SNSを活用した周知など新しい取組と連携させていくことを考えている。</u>

4-2-2. ヒアリング結果

大項目	小項目	主な意見の概要
みなとオアシスの運営面	資金源	• みなとオアシスの管理委託料として自治体において予算化している。 • 管理委託をうけている駐車場収入を、みなとオアシスや、それ以外の港湾施設の維持管理等へ充当している。
みなとオアシスの登録手続き	用地、施設の使用手続きの煩雑さ	• <u>相談窓口が一本化できておらず、利用希望者は、施設管理者と所有者へ両者並行して相談しなければならないため、もう少し効率化を考える必要がある。</u> • 町が所有する土地と県が所有する土地が混在している場合には、イベントの際に、町の他に、県にも申請が必要となっている。 • イベントの実施が指定管理業務の範囲を超える場合には、県（港湾管理者）に対して行政財産の目的外使用申請を行う必要がある。
みなとオアシスの防災面の活用		• <u>広い用地があることは災害対応には重要であり、全国から集まってくる車両置き場、仮置き場という観点でも広い駐車場は必要である。</u> • 津波注意報や警報の発令時に避難できる高台やその他建築物等、一時避難がしやすい環境の整備が必要になってくる。 • 市民は南海トラフ地震に対しては関心が高いため、<u>みなとオアシスとしてのBCPを策定し、防災訓練の実施といった防災面の役割・機能の確保について準備を進めている。</u>

4-3. 評価結果

4-3-1. みなとを核とした「賑わいの創出」への貢献

■みなとオアシス登録前のみなとを含めた地域の状況

登録前の港湾周辺地域の状況について、各自治体や地元関係者は以下のような課題を認識。

- ・ 市民が水際線に近づきやすい空間となっていない
- ・ みなとを含めた地域への関心が高まるような機会(施設、イベント等)がなかった
- ・ 背後のまちと、みなとに関連する施設や既存施設との連携、ネットワークの構築が十分に行われてない

■みなとオアシスへの登録の理由

そのため、各自治体はみなとオアシスに登録する際、以下のような効果を期待。

- ・ みなと等の関心を高めたり、認知の向上などの機会の創出
- ・ 背後のまちとみなとの両地域が一体となったまちづくりの促進や、回遊性の向上
- ・ みなとを含めた地域の地域住民や観光客等の交流の促進を図る交流空間の形成
- ・ みなとやそれを含めた地域への集客のための情報発信、情報提供、利便性の向上
- ・ クルーズ客船の誘致、みなと空間の利用促進、観光振興、広域イベント(Sea級グルメ等)の開催・誘致 等



■みなとオアシスによる地域の賑わい創出への貢献

みなとオアシス登録後の効果についてのアンケート結果では、8割以上のみなとオアシスで、地域の賑わい創出に「貢献している」と回答しており、みなとオアシスの登録が賑わい創出に一定の効果があったといえる。

- ・ 具体的には、“近づきにくい”、“親しみにくい”といった港湾周辺地域が、みなとオアシスの登録により、

- ① 新たな商業施設等が立地したり、イベントが開催された等の具体的な変化がでている
- ② 賑わい創出の提供側の連携意識等も芽生え、新たなイベント開催にもつながった
- ③ 来訪者も増加し、周辺住民にも、みなとを含む地域の賑わい創出が認識されるようになった

等の効果があったとの回答があった

4. 「みなとオアシス」の評価

4-3. 評価結果

4-3-2. アンケートおよびヒアリング結果から導き出される課題・要因分析

	アンケート結果		ヒアリング結果		課題・要因分析
知名度向上・ブランド強化	【みなとオアシスの賑わい創出】 - みなとオアシスがどういうものなのかわかりにくく、登録したメリットやPR効果が感じられない。 - 各みなとオアシスの賑わいを創出する形態として、「地域の学習、観光等による賑わい【観光】」と認識しているみなとオアシスが多い。	+	みなとオアシスがどんな施設であるかなかなか伝わりづらいと実感。4つの分類(特性)ごとに区分して、みなとオアシスを評価していくことは重要。	→	【課題】 - みなとオアシスの認知度やブランド力が不足 【要因分析】 - ボトムアップ型で進めてきた「みなとオアシス」の定義やコンセプトがわかりにくい - 民間経営的な視点に立ったマーケティング戦略の不足 - 各みなとオアシスの一部の港湾周辺だけの取組では、集客力やコンテンツが不足 - 地域の観光政策・道の駅などとの連携の不足 - 地域毎の取り組みでは広報効果に限界
	【みなとオアシス知名度】 - 各みなとオアシスでは、標章、登録証、幟、HP等知名度向上に向けた取組を実施している。 - しかしながら、一般市民のみなとオアシス知名度は非常に低い。「知名度の低さ」が運営上の課題として一番多く挙げられた。	+	- みなとオアシスでのイベントを継続に開催していくことが重要。 - SNSを活用した周知など新しい取組と連携。	→	
人材不足	【みなとオアシスの活動・取組】 - 各みなとオアシスの主な活動は「イベントの開催」、「構成施設の施設管理」。 - 一方、更なるイベント開催に向けては「活動等に取り組む上での人員や、賑わい創出等の企画実施を担当する人材の不足」が多く指摘された。	+	- みなと周辺に立地する企業や行政等が同じ方向を目指し、みなとオアシスの名のもと、みなとまちづくりに参加している。 - 新しい構成施設がオープンしたことにより来場者が増加。スタンプラリーなどを通じて、既存の構成施設にも、その集客効果を波及させている。	→	【課題】 - みなとオアシスの活動に取り組む運営主体の人員、企画の立案や実行を担当する人材の不足 【要因分析】 - 地方部における人口減少 - 賑わい創出に必要な活動人口の不足 - 民間人材が活用できていない - ノウハウの継続性を確保した運営ができていない

4. 「みなとオアシス」の評価

4-3. 評価結果

4-3-2. アンケートおよびヒアリング結果から導き出される課題・要因分析

	アンケート結果		ヒアリング結果		課題・要因分析
資金不足	【みなとオアシスの支援】 - みなとオアシスに必要な施設としては、商業施設、駐車場、広場(イベント等を開催できる)などが多く挙げられた。 - 運営にあたって、各自治体などからの交付金等が主な資金源となっている。 - 運営上の課題として、施設整備等の資金への助成、支援、また支援内容の周知が課題としてあげられている。	+	「ウォーターフロントにおける賑わい創出」を自治体の総合計画に位置付けた上で、みなとオアシスを運営する予算を確保。 - イベントの開催あたり、所在自治体の予算を充当しているが、予算が不足する場合は地元企業へ協賛金を募り取組を継続。	→	【課題】 - 構成施設の整備等の資金が不足 - 賑わい創出に必要な取組や活動への資金が不足 【要因分析】 - 自立運営へのノウハウの不足 - 支援制度の周知不足 - 支援制度の不足
その他（手続き面・防災面）	【みなとオアシスの手続き(登録面・使用手続き面)】 - みなとオアシス登録手続きでの課題はみられない。 - イベント開催等に伴う、構成施設の使用等手続きは特に問題がないとの回答が多かったが、複数の施設管理者がいる場合の手続きや調整等が煩雑との指摘がある。	+	相談窓口が一本化できておらず、利用希望者は、施設管理者と所有者へ両者並行して相談しなければならない。効率化を考える必要がある。	→	【課題】 - 賑わい創出の取組や活動の際に、関係者間の調整に手間と時間を要する 【要因分析】 - 自治体内における担当者の異動等によるみなとオアシスに関する認識不足 - 施設管理者毎に手続き書類やプロセスに相違がある
	【みなとオアシスの防災面での活用】 - 災害時に活用可能な構成施設を有する「みなとオアシス」は103箇所。 - その一方、災害時や防災訓練等で活用した実績のある「みなとオアシス」は、それぞれ23箇所、51箇所には過ぎない。	+	- 全国から集まってくる車両置き場、仮置き場の活用という観点でも広い駐車場は必要である。 - みなとオアシスとしてのBCPを策定し、防災訓練の実施といった防災面の役割・機能の確保について準備を進めている。	→	【課題】 - 災害時や防災訓練等で活用した実績が少ない 【要因分析】 - みなとオアシスの取組が、地域防災計画等に位置づけられていない 「みなとオアシス防災ネットワーク」の構築が位置づけられた(R2年8月)が、関係者への周知が不足

5-1. 知名度向上、ブランド力向上

■課題：認知度不足、ブランド力不足

- ・登録したメリットやPR効果が感じられない
- ・地元住民や地域におけるみなとオアシスの知名度は非常に低い

■原因：みなとオアシスの定義やコンセプトがわかりにくい

- ・みなとオアシス自体が地方のボトムアップで開始された取組であり、道の駅のような共通した定義やコンセプトがない
- ・民間経営的な視点に立ったマーケティング戦略の不足
- ・各みなとオアシスの一部の港湾周辺だけの取組では、集客力やコンテンツが不足
- ・各みなとオアシスで知名度向上に向けた取組を進めているが、十分な効果には至っていない

■解決策：

① みなとオアシスの分類分けによるコンセプトの明確化やマーケティング戦略の立案

- ・各みなとオアシスを「商業（販売・飲食）」、「観光・学習」、「地域交流（地元住民向け）」、「海洋性レクリエーション」による4つに分類し、各みなとオアシスのコンセプトや利用対象者や利用目的等を明確化し、各みなとオアシスの運営者が効果的なマーケティング戦略を立案できるようにする

【利用者（マーケティング）対象イメージ】 商業（観光客） 観光・学習（観光客、住民、学校・学生） 地域交流（住民、フェリー等利用者）
海洋性レクリエーション（観光客、住民、スポーツ団体など）

- ・みなとオアシスの各機能を示すピクトグラム等を定め、HPや地図上に、コンセプトやピクトグラムを明記することで、利用者が目的別に検索可能とし、一般利用者や教育活動等にとって利便性や認知度を向上させる

② みなとオアシスの磨き上げ

- ・みなとオアシスのコンセプト、利用対象者、利用目的等を明確化し、マーケティング戦略等を見直すことで各みなとオアシスのコンテンツやイベント等の磨き上げにつなげる

③ 各みなとオアシス地方ブロック協議会の積極的な活用

- ・登録の効果、ベストプラクティス（効果的なイベント、他の観光資源との連携、マーケティング戦略など）の共有による横展開を図るため、各みなとオアシス地方ブロック単位での国による講演会等を開催

5-1. 知名度向上、ブランド力向上（続き）

④ 全国イベントの継続的な開催

- ・ みなとオアシスのブランド周知の観点から「効果が高い」と回答があった全国イベントの継続的な開催や新たなイベントを企画（Sea級グルメ全国大会、みなとオアシス・オブ・ザ・イヤー（創設）など）

⑤ HP、SNSや広報誌、メディアを活用した広報

- ・ 上記「①マーケティング戦略」に基づく効果的な広報手段（HP、SNS、マスメディア、地元広報誌など）の活用、効果的な広報の実施に向けた講習会等の開催
- ・ 全国的なブランド周知の観点から、国や自治体からの広報誌やメディアへの営業（全国PR）、地元や地域キャラクターのコラボ商標を可能とすることによる地域と一体となったPRの促進
- ・ 各みなとオアシスにHPやSNSの整備を促し、かつ地域の観光部局等とも相互リンクすることによりPRの連携強化

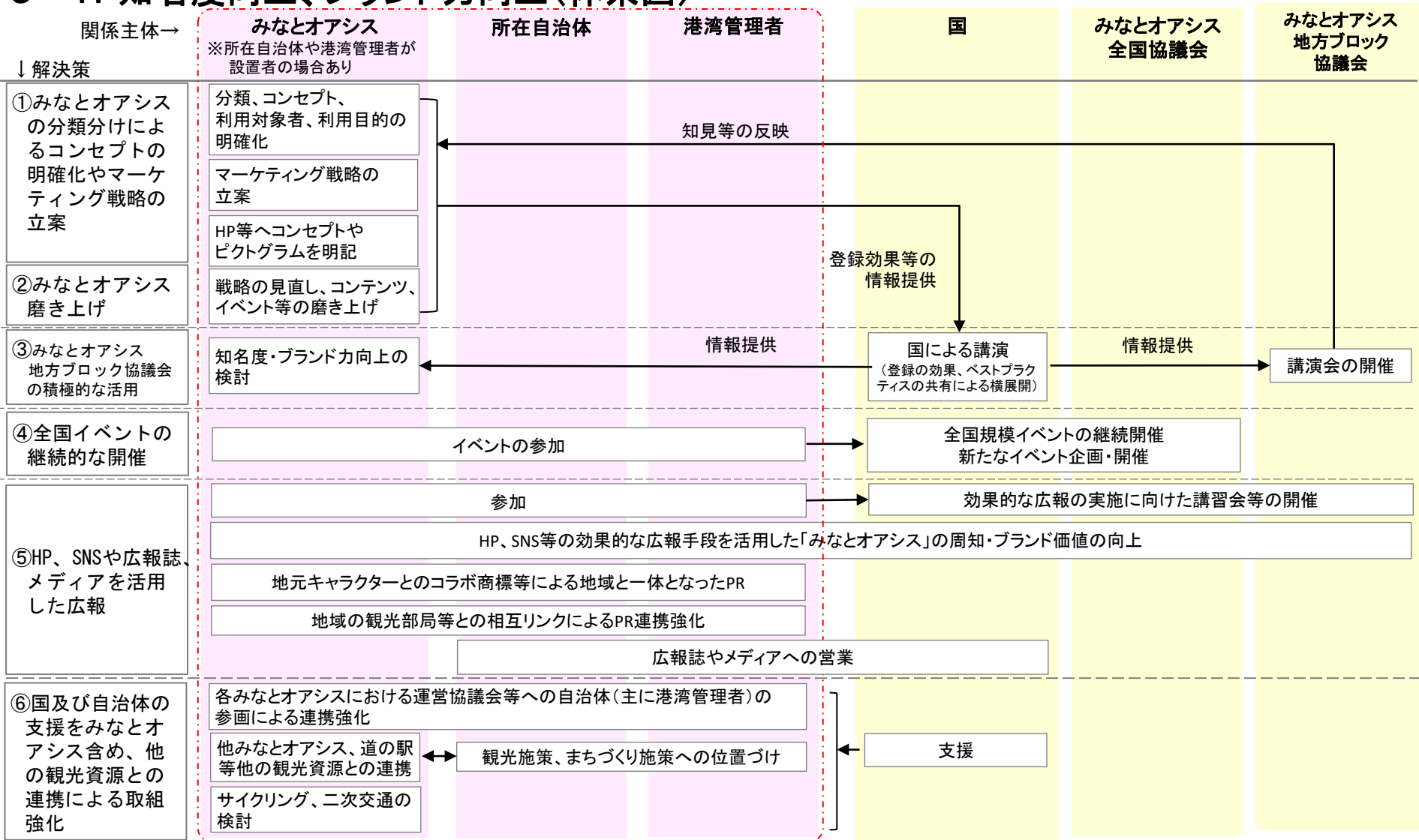
⑥ 国及び自治体の支援を含めた「みなとオアシス」と他の観光資源との連携を図る取組強化

- ・ 自治体における観光施策、まちづくり施策への位置付け、また各みなとオアシス運営協議会等への自治体（主に港湾管理者）の参画による連携の強化
- ・ 「みなと」を核としつつ、「みなとオアシス」と道の駅など他の観光資源とが連携を図り、地域一体となった取組を強化
- ・ みなとオアシスを拠点とした広域周遊を促進するための、サイクリングや二次交通の充実等への支援

■効果：認知度向上、ブランド力向上

- ・ みなとオアシスの定義やコンセプトが明確化されることで、目的地としてのイメージが利用者および地域に浸透し、みなとを核とした地域の賑わいが創出される
- ・ 観光や商業による賑わいのみならず、「海」や「みなと」の学びの場としても活用することで、地元住民や地域における認知度が向上する
- ・ 広域的なPRやイベントによって入込客数が増加し、全国的な認知度やブランド力が向上する

5-1. 知名度向上、ブランド力向上(体系図)



5. 今後の方向性

5-2. 人材不足に対する支援の強化

■課題：賑わい創出に必要な人材の不足

- ・みなとオアシスの活動に取り組む運営主体の人員不足
- ・イベント等の賑わい創出に必要な企画の立案や実行を担当する人材の不足

■原因：地方部における人口減少や賑わい創出に必要な活動人口の不足

- ・みなとオアシスは全国に165箇所（令和6年11月1日現在）あり、市街地だけでなく地方部にも多く存在し、登録をしたものの活動を実施できていない団体も多い
- ・行政主体で運営しているオアシスを中心に、イベントの企画運営をする人材や人員の不足、また行政職員の異動に伴いノウハウの蓄積が損なわれている

■解決策：

① 外部専門家の活用

- ・みなとまちづくりマイスター（（一社）ウォーターフロント協会）、地域活性化伝道師（内閣府）、地域創造力アドバイザー（総務省）、地域周遊・長期滞在促進のための専門家（観光庁）などの活用し、ノウハウ向上を支援

② 各みなとオアシス地方ブロック協議会の積極的な活用（再掲）

- ・登録の効果、ベストプラクティス（効果的なイベント、他の観光資源との連携、マーケティング戦略など）の共有による横展開を図るため、各みなとオアシス地方ブロック単位での国による講演会等の開催

③ 民間主導によるガバナンスやノウハウの継続性を確保した運営

- ・民間主体の協議会形式によるみなとオアシスの運営を原則としていくことで、協議会中心のガバナンス（構成施設間の連携、オアシス全体の運営）やノウハウの継続性を確保した運営を実施

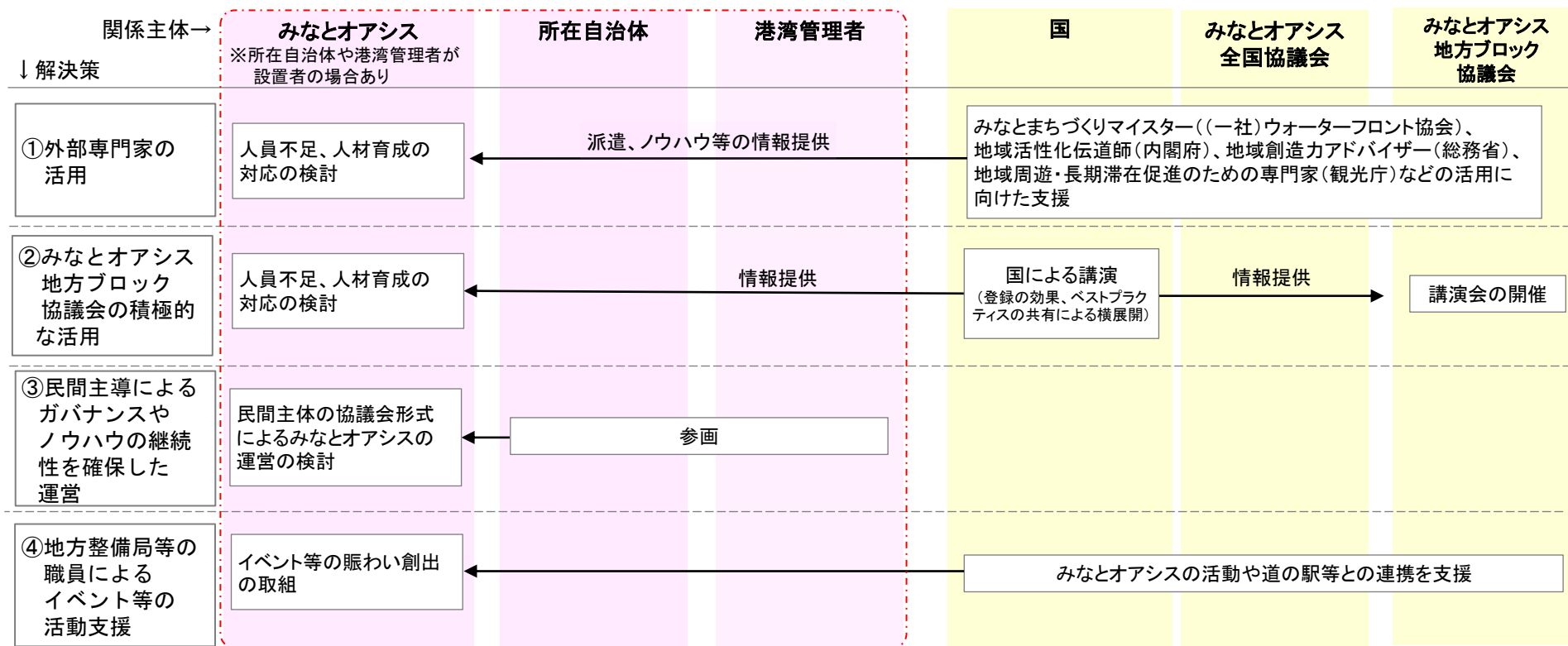
④ 地方整備局等の職員によるイベント等の活動支援

- ・直轄事務所によるみなとオアシスの活動や道の駅等との連携を支援

■効果：賑わい創出に必要な活動人口の確保

- ・人材育成やイベント活動人口の増加により、みなとを核とした地域の賑わい創出の取組が継続して行われる
- ・みなとを核とした地域の賑わい創出の取組が継続することで、みなと周辺の活力が生まれ、地方部の人口増加に寄与することも想定される

5-2. 人材不足に対する支援の強化(体系図)



効果

みなとを核とした地域の賑わい創出の取組が継続 / みなと周辺の活力が生まれ、地方部の人口増加に
寄与することも想定

5-3. 資金不足に対する支援の強化

■課題：自主財源の確保、構成施設の整備等の資金不足、賑わい創出に必要な取組や活動の資金不足

- ・資金源については、行政からの交付金、補助金にて賄っているところが半数以上占めている
- ・みなとオアシスは複数の施設で構成されていることが多く、また取組や活動を実施していく中で、新たな施設の整備が必要となった場合、各施設管理者においては整備に必要な予算がない
- ・イベント等の賑わい創出の取組や活動に必要な資金がない

■原因：自立運営のノウハウの不足、支援制度の周知不足、支援制度の限界

- ・物販、イベント開催等を運営する能力・ノウハウが不足している
- ・施設の整備等を可能とする支援制度があっても、その存在が知られていない
- ・みなとオアシスを構成する民間施設を中心に、現行の制度では支援が困難な場合がある

■解決策：

① 外部専門家の活用

- ・イベント等の賑わい創出の取組や活動に要する資金確保として、みなとまちづくりマイスターの活用やベストプラクティスの横展開等によりノウハウを共有し、物販やイベントの売上等の自主財源確保に向けた支援

② 支援メニュー集の再整理と活用事例の周知

- ・施設整備に要する資金を確保するため、国が「みなとオアシス支援メニュー」を再整理するとともに、国から各みなとオアシスへの説明会を開催、また各みなとオアシス地方ブロック協議会等を通じて活用できる支援メニューや活用事例を周知

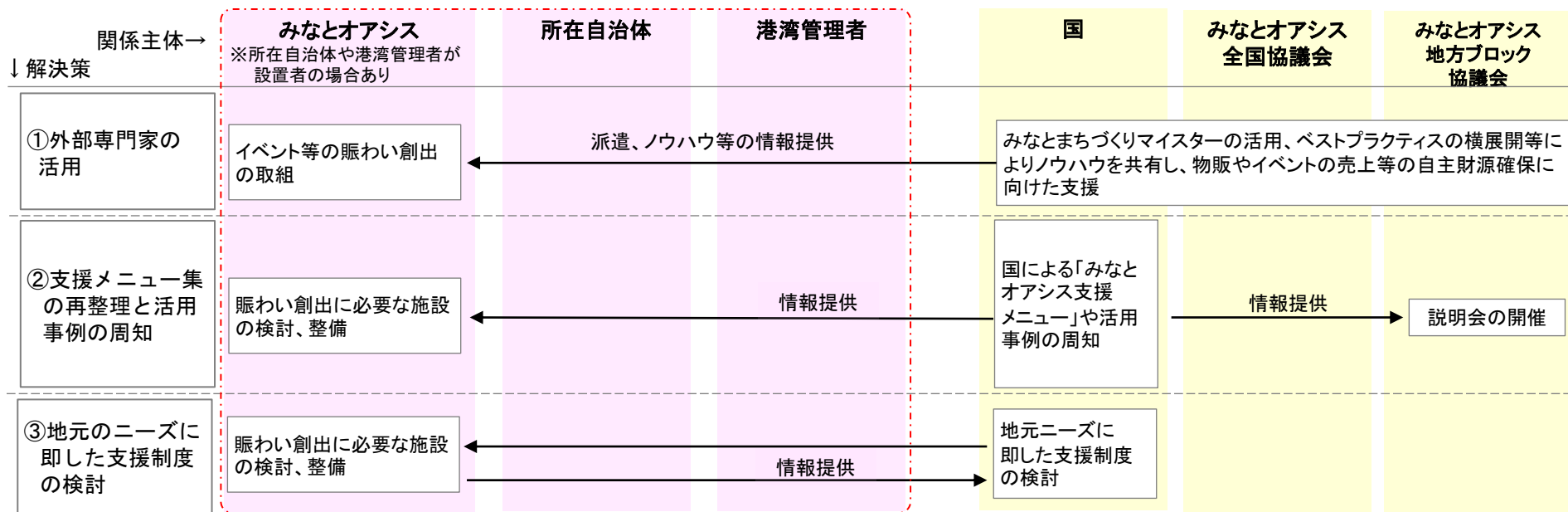
③ 地元のニーズに即した支援制度の検討

■効果：賑わい創出に必要な取組や活動の継続

- ・物販、イベント等による自主財源の確保や様々な支援制度の活用により自立的運営の確立
- ・構成施設の整備等が促進され、活動資金も支援されることで、みなとを核とした地域の賑わい創出に必要な取組や活動が継続して行われる

5. 今後の方向性

5-3. 資金不足に対する支援の強化(体系図)



効果

自立的運営の確立 / みなとを核とした地域の賑わいの創出に必要な取組や活動が継続

5. 今後の方向性

5-4. 関係者間の事務手続きの共通化・簡素化

■課題：賑わい創出に必要な取組や活動時の関係者間の調整に時間を要する

- 複数の構成施設、施設管理者が存在している時には、手続きや調整に時間がかかる
- 用地（港湾緑地）や港湾施設の活動時における使用許認可手続きに時間を要する場合ある

■原因：自治体における認識不足、手続きのバラツキ

- 自治体内における担当者の異動等によるみなとオアシスの認識不足
- 関係者間での調整を共通化していないため、事務手続きが煩雑化している

■解決策：

① 民間主導によるガバナンスやノウハウの継続性を確保した運営（再掲）

- 民間主体の運営協議会形式によるみなとオアシスの運営を原則としていくことで、協議会中心のガバナンスやノウハウを維持しつつ、同協議会への自治体（港湾管理者）の参画による手続き等のスムーズな調整

② 関係者間の事務手続きの共通化・簡素化による調整コストの削減

- 事務手続きに際しての共通様式を国、自治体にて新たに検討

■効果：関係者間の調整の簡素化による取組や活動の促進

- 調整コスト（時間）の削減によって、取組や活動が実施しやすくなり、みなとを核とした地域の賑わいの創出が促進される

5-4. 関係者間の事務手続きの共通化・簡素化(体系図)



効果

取組や活動が実施しやすくなる / みなとを核とした地域の賑わいの創出が促進

5. 今後の方向性

5-5. 災害支援機能の強化

■課題：防災面での活用が少ない

- ・災害時に活用可能な構成施設を有する「みなとオアシス」は多く存在するが、災害時や防災訓練等で活用した実績は少ない

■原因：防災面での取組を想定していない

- ・構成施設やみなとオアシスの取組が、地域防災計画等に位置づけられていない
- ・令和2年8月交通政策審議会答申「今後の港湾におけるハード・ソフト一体となった総合的な防災・減災のあり方」において、広域的な災害対応を可能とする「みなとオアシス防災ネットワーク」の構築が位置づけられたが、関係者への周知が不足している

■解決策：

① みなとオアシスの取組等を地域防災計画等に位置づけ

- ・国の方針（みなとオアシス防災ネットワーク）の周知を徹底、能登半島地震時のみなとオアシスの活用事例を自治体に共有し、地域防災計画等へ、みなとオアシスの構成施設や防災に関する取組を位置づけることを促進

② みなとオアシスの災害支援機能の拡充

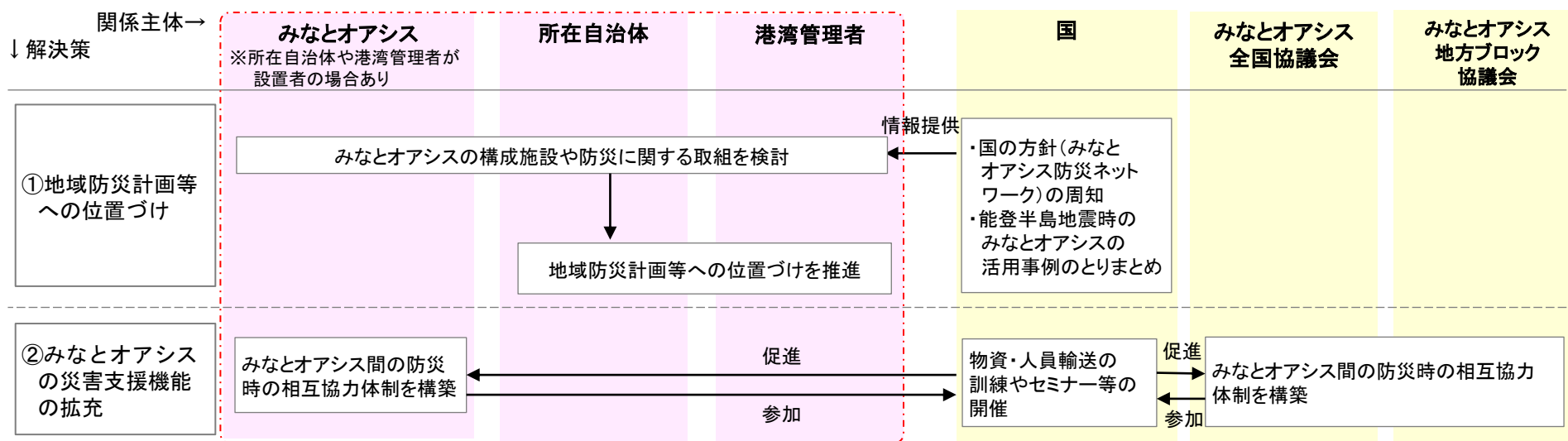
- ・国による物資・人員輸送の訓練やセミナー等の開催
- ・みなとオアシス間の防災時の相互協力体制を構築

■効果：みなとオアシスの災害支援機能の充実

- ・複数のみなとオアシス間における災害時の相互協力体制の構築により、防災時の活用が可能となる

5. 今後の方向性

5-5. 災害支援機能の強化(体系図)



効果

複数のみなとオアシス間における災害時の相互協力体制の構築(防災時の活用)

参考資料

令和6年度政策レビュー

「みなとオアシス」を活用した賑わい創出の推進に関するアンケート調査票

このアンケート調査は、みなとオアシスの設置者、運営者を対象に、本年度国土交通省が実施する政策レビュー「「みなとオアシス」を活用した賑わい創出の推進」の基礎情報の収集の一環で実施するものです。

お手数をおかけいたしますが、アンケート調査の趣旨を十分にお汲み取りいただき、ご協力をお願い申し上げます。

なお、ご記入にあたって入力していきますと、改行、ページずれ等が発生しますが、修正せず、そのまま結構です。

なお、ご回答内容についてお問い合わせさせていただくこともありますので、回答者様のご所属等、下記の内容についてご記入いただき、本用紙も含め調査票とともに、ご返送いただくよう、お願い致します。

【回答者のご記入をお願いいたします】

所属組織名 (部課まで)		TEL	
氏名		FAX	

「みなとオアシス」を活用した賑わい創出の推進に関するアンケート調査票

1. みなとオアシスが目指す賑わい創出

1. 1 貴みなとオアシスの賑わい創出

国土交通省港湾局では、地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するために、住民参加による地域振興の取組が継続的に行われる施設を登録する「みなとオアシス」制度を創設し、みなとに人々を集めて賑わいを創出する取り組みを支援しています。

みなとを核とした地域の賑わいを創出する形態としては、主に、以下のようなものがあげられると考えていますが、貴みなとオアシスはどれに該当しますか。(1つ選んで選択肢に“○(丸)”を付けて下さい)

【選択肢】

- () みなとを含む地域の特産品等の販売や飲食等による賑わい
- () 観光資源、博物館、観光案内所等、みなとを含む地域の学習、観光等による賑わい
- () 地域住民を対象とした会議室や文化ホール、展示、レクリエーション施設等による賑わい
- () 海やみなとの資源を活用したマリーナ、海水浴場などによる賑わい
- () 上記の選択肢にはあてはまらない ※下記に、具体的な機能や施設等をご記入下さい。

上記以外の具体的な機能、施設等	例 「地域防災計画等に位置付けられた防災施設」、「旅客施設のみ」、「クルーズ等の受入施設」、「アマモ場再生等の海洋環境拠点」等
-----------------	---

1. 2 現時点での貴みなとオアシスにおける賑わい創出の評価

現時点で、貴みなとオアシスの構成施設やそこでのイベント等の地域振興活動の取組みについて、どのようにお考えでしょうか。(1つ選んで選択肢に“○(丸)”を付けて下さい)

【選択肢】

- () 地域の賑わい創出に、十分に貢献している
- () 地域の賑わい創出に貢献しているが、まだまだ十分とは言えない
- () 地域の賑わい創出に貢献しているが、上記で選択したみなとの賑わいとは別の形態も検討したい
- () 地域の賑わい創出には十分に貢献できていない
- () わからない
- () 上記の選択肢にはあてはまらない ※下記に、具体的にご記入下さい。

上記以外の具体的な現状認識等	
----------------	--

1. 3 今後、貴みなとオアシスが目指す、みなとの賑わい創出について

貴みなとオアシスでは、前問「1. 1」、「1. 2」で選択した回答を踏まえ、今後、みなとの賑わい創出のため、構成施設やそこでのイベント等の取組に関してより強化したり、あるいは、今後、目指すべき姿として必要な施設や機能等についてお教えてください。(2つまで選び選択肢に“○(丸)”を付けて下さい)

【選択肢】

- () 地域産物の飲食販売する商業施設 (具体的に:)
- () 博物館、美術館等の展示、学習施設 (具体的に:)
- () 研修、会議室等の地域交流施設 (具体的に:)
- () マリンスポーツ、海洋性レクリエーション活動を行う施設 (具体的に:)
- () 駐車場 (具体的に:)
- () 屋内外でイベントができる施設 (具体的に:)
- () 木陰、日よけ施設のある緑地広場 (具体的に:)
- () アーバンスポーツ(スケボー、バスケ等)ができる施設 (具体的に:)
- () アマモ場等再生等を行う場所 (具体的に:)
- () その他 ※上記以外に必要な「施設」や「取組」等を、下記にご記入下さい。

上記以外の施設や取組等	
-------------	--

1. 4 みなとオアシスの広域的な連携について ※この設問(1. 4)は、自治体以外の方は「任意」でご回答下さい。

前問までのみなとを含めた地域の賑わい創出に向けては、他地域のみなとオアシス、「道の駅」などとの連携、みなとオアシス構成施設間の連携等、複数の施設により広域に連携する取組も有用であると考えています。どのような連携の姿が有用であるとお考えですか。

「みなとオアシス」を活用した賑わい創出の推進に関するアンケート調査票

(該当するもの1つ選んで選択肢に“○(丸)”を付けて下さい。)

【選択肢】

- () 地域内外のみなとオアシスと連携したイベント等の実施
- () 域内外の「道の駅」「海の駅」等、みなとオアシスと異なる施設と連携したイベント等の実施
- () 管内のみなとオアシスの協議会活動(既存)の強化
- () みなとオアシスにおける構成施設間あるいは地域内組織(自治会、商工会等)との連携の強化
- () その他 ※上記以外の広域的な連携について、下記に具体的にご記入下さい。

上記以外の施設や、 広域的な連携について	
-------------------------	--

※この設問(1. 5)は、自治体以外の方は「任意」でご回答下さい。

1. 5 みなとオアシスの広域的な連携の取組の現状

貴みなとオアシスにおいて、前問「1. 4」で回答した広域的な連携の現状認識についてお教え下さい。

(該当するもの2つまで選んで選択肢に“○(丸)”を付けて下さい。)

【選択肢】

- () 管内のみなとオアシス協議会に参加して、取り組みを行っている
- () 他地域(管外)とのみなとオアシスとの連携している
- () 「道の駅」「海の駅」等、みなとオアシスと異なる施設との連携を行っている。
- () 広域的な連携の重要性は理解するが、他地域(管外)、「道の駅」等と連携は行っていない。
- () その他 ※上記以外の回答について、下記に具体的にご記入下さい。

その他(具体的に)	
-----------	--

※この設問(1. 6)は、自治体以外の方は「任意」でご回答下さい。

1. 6 今後のみなとオアシスの広域的な連携の取組について

前問「1. 4」「1. 5」を踏まえ、貴みなとオアシスでは、今後、広域的な連携についてのどのよう
に取り組んでいきたいですか。(該当するもの2つまで選んで選択肢に“○(丸)”を付けて下さい。)

【選択肢】

- () 現状の管内のみなとオアシス協議会の連携や取組みを強化したい
- () 他地域(管外)とのみなとオアシスとの連携を積極的に図っていききたい
- () 「道の駅」「海の駅」等のみなとオアシスと異なる連携を行っていききたい。
- () 特に広域的な連携を求めている(必要ない)
- () その他 ※上記以外の回答について、下記に具体的にご記入下さい。

その他(具体的に)	
-----------	--

1. 7 みなとオアシスの分類(カテゴリ)について

みなとオアシス利用者が、みなとオアシスのイメージが理解しやすいように、前問「1. 1」に示した
ような分類分けを行い、みなとのオアシスのPR等を展開したいと考えていますが、そのことについて、
ご意見を下さい。(該当するもの1つ選んで選択肢に“○(丸)”を付けて下さい。)

【選択肢】

- () みなとオアシスのイメージをわかりやすく伝えることができる
- () みなとオアシスをよりPRしやすくなる
- () あまり効果はない
- () わからない
- () その他 ※上記以外の回答について、下記に具体的にご記入下さい。

その他(具体的に)	
-----------	--

「みなとオアシス」を活用した賑わい創出の推進に関するアンケート調査票

2. みなとオアシス登録の効果に関する現状認識

2. 1 みなとオアシス登録に至った理由

みなとオアシス登録に至った理由について、みなとオアシス登録前（当時）の状況等を踏まえご回答下さい。

【回答欄】

みなとを含む地域の状況 (みなとオアシス登録前)

例 みなとを含む地域に地域住民、観光客等が気軽に立ち寄れる場所（施設）がなかった／みなとを含む地域にイベント等の賑わいを創出する場所がなかった 等

【回答欄】

みなとオアシス登録の理由

例 遊休化した施設を活用して地域住民や観光客と交流できる場所を整備するため／常時イベント等が行える場所、空間を確保するため等

【回答欄】

2. 2 みなとオアシス登録以降の状況の変化

(1) 貴みなとオアシス登録後の状況変化

貴みなとオアシス登録後の状況変化について、下記に示すような観点（地域住民のみなとへの関心、みなと周辺の人の流れ、イベント開催、さまざまな施設の立地等）で、みなとオアシス設置者・運営者が認識されている変化の状況をお教えてください。

【回答欄】

みなとオアシス登録後の状況変化 (観点)	回答欄
①来訪者等の市民のみなとに対する関心や意識	例 みなとオアシスの活動やイベント等を通じて、一般市民がみなと（港）に対する愛着や、海洋環境への関心等が高まってきたことを設置者・運営者として実感した 等
②(設置者、運営者のイベント企画、提供側)の意識について	例 みなとオアシスとしての活動。イベント等を通じて、みなとまちづくりに関わる人の意識等が高まった／構成施設間同志のコミュニケーションが取りやすくなった 等
③みなと(港)の賑わい創出	例 イベントの開催が多くなった、みなと周辺に一般市民が来訪する機会が多くなった 等
④みなとまち周辺地域の変化	例 港湾関係の施設だけでなく、多様な施設（café、レンタルサイクルショップ等）が立地してきた 等
⑤その他(上記以外に)	

(2) 過去におけるみなとオアシス来訪者へのアンケート調査（ニーズ調査）等の実施状況と結果

これまで、貴みなとオアシスにおいて、みなとオアシスの来訪者に対して、施設整備等みなとオアシスへニーズや要望等のアンケート調査、インタビュー等を実施したことがありますか。ございましたら、その概要をお教えてください。（該当するもの1つ選んで選択肢に“○（丸）”を付けて下さい）。

【選択肢】

- () 来訪者へのアンケート、インタビュー等の実施あり → ※下記の回答欄に具体的にご回答下さい。
() 来訪者へのアンケート、インタビュー等の実施なし

【回答欄】

来訪者へのアンケート、インタビュー等の実施ありについて	(設問項目や、調査結果の概要がありましたらお教えてください)
-----------------------------	--------------------------------

「みなとオアシス」を活用した賑わい創出の推進に関するアンケート調査票

※この設問(3.)は、自治体以外の方は「任意」でご回答ください

3. みなとオアシス所在自治体の位置づけ

3. 1 所在自治体における計画等の位置づけ

貴みなとオアシスは、所在する自治体の中ではどのように位置づけられていますか（総合計画、観光計画等での位置づけ等）。（該当するもの1つ選んで選択肢に“○（丸）”を付けて下さい）。

【選択肢】

（ ）特に位置づけはない

（ ）総合計画、観光、防災、海洋環境等に位置づけられている → ※下記の回答欄にご回答下さい。

【回答欄】

所在自治体での位置づけ (計画等の名称)	位置づけられている内容(抜粋)
例 ●●構成施設が、「〇〇市地域防災計画」の防災施設に位置づけられている	例 災害発生時に、ヘリコプターが離着陸できる空間として整備

3. 2 所在自治体におけるみなとオアシスの取組みや活動の扱い

貴みなとオアシスにおける取組みや活動等は、所在自治体の中では、どのように扱われていますか。（該当するもの1つ選んで選択肢に“○（丸）”を付けて下さい）。

【選択肢】

（ ）みなとオアシスの取組や活動の目標が設定されている

（ ）みなとオアシスの取組や活動が予算化されている

（ ）みなとオアシスの取組や活動に対する人的支援等がある

（ ）みなとオアシスの取組や活動については特に何もない

（ ）その他 ※上記以外の回答について、下記に具体的にご記入下さい。

その他(具体的に)	
-----------	--

4. みなとオアシスの知名度等

4. 1 現時点のみなとオアシスの知名度についての認識（評価）

みなと周辺地域の住民や来訪者は、「みなとオアシス」として認知していますか。貴みなとオアシスの知名度についての認識と、その理由をご回答下さい。

【回答欄】

みなとオアシスの知名度についての認識	左記の回答の理由 (みなとオアシスの知名度が低い等の理由)
例 みなとオアシスの名前が知られていない 等	例 みなとオアシスのPRが不足している 等
【回答欄】	【回答欄】

「みなとオアシス」を活用した賑わい創出の推進に関するアンケート調査票

4. 2 みなとオアシスの知名度向上の方策

地域住民や来訪者等に対し「みなとオアシス」の知名度を向上するために、現時点で取り組んでいること、及び、今後、取り組む必要がある内容をご回答下さい。

【回答欄】

現時点で、みなとオアシスの知名度の向上のために取り組んでいること等

例 みなとオアシス標章（シール）の貼付
みなとオアシス登録認証の貼付
みなとオアシスの幟、看板、案内板の設置
みなとオアシスのホームページの開設
パンフレット、チラシの作成と配布
みなとオアシス名のイベントの実施 等

【回答欄】

今後、知名度向上のために、取り組むこと

例 イベントのチラシ等みなとオアシス標章、名称の印字
「みなとオアシス」におけるイベントのプレス発表時に、みなとオアシス名称の連呼（読みあげる）
道路標識へのみなとオアシスの記載の依頼 等

【回答欄】

5. みなとオアシスの運営面

5. 1 みなとオアシスの活動、取り組み

普段、貴みなとオアシスではどんな活動を行っていますか。（複数回答可）

【選択肢】

- ☐ みなとオアシス構成施設の施設管理を行っている
- ☐ みなとオアシス所在港湾の関係団体や自治体等が行っている各種イベント等に参加している
- ☐ アマモ場再生やブルーカーボン等の海洋環境の取り組みを行っている
- ☐ 周辺にあるみなとオアシス、道の駅等と連携した取り組みを行っている
- ☐ みなとオアシスの各構成施設でイベントを開催している
- ☐ みなとオアシスのホームページ等でイベント情報などを提供している
- ☐ みなとオアシスのパンフレット、ポスター等でイベント情報等を発信している
- ☐ みなとオアシス構成施設と自治体の間で情報交換を行っている
- ☐ みなとオアシス Sea 級グルメ全国大会へ出店
- ☐ その他 ※上記以外の回答について、下記に具体的にご記入下さい。

その他(具体的に)

5. 2 みなとオアシスの活動、取り組みの資金源

みなとオアシスとしての活動する独自の資金（自主財源）についてお教え下さい。（複数回答可）。

【選択肢】

- ☐ 自主財源 ⇒具体的に（ ）
- ☐ みなとオアシス構成施設あるいは会員からの会費、協賛金
- ☐ 各種イベントの助成金の活用
- ☐ 行政からの交付金、補助金
- ☐ 指定管理者の費用
- ☐ その他 ※上記以外の回答について、下記に具体的にご記入下さい。

その他(具体的に)

「みなとオアシス」を活用した賑わい創出の推進に関するアンケート調査票

5. 3 みなとオアシスの運営上の課題

(1) 運営上の課題

みなとオアシスの運営上の課題等についてお教えてください。(複数回答可)

【選択肢】

- ☐ 集客の核となる施設が不足、集客数が低い
- ☐ 必要な施設が不足している
- ☐ 構成施設間の連携が図られていない
- ☐ 活動や運営におけるリーダーが不在である
- ☐ 活動にあたって人員が不足している
- ☐ 活動にあたって資金が不足している
- ☐ 資金、人員等の支援、助成がない
- ☐ 今後、みなとオアシスが目指すべき分類の専門知識や専門知識を有する人材が不足している
- ☐ みなとオアシスの認知度が低い
- ☐ その他 ※上記以外の回答について、下記に具体的にご記入下さい。

その他(具体的に)	
------------------	--

(2) みなとオアシス運営上の課題の対応策

上記の回答いただいたみなとオアシスの運営上の課題に対する、現時点でのご対応やご意見等を、下記の回答欄に具体的にご回答下さい。

【回答欄】

上記に回答いただいたみなとオアシス運営上の課題のご対応等	例 他関係機関との連携、人材の育成等
-------------------------------------	--------------------

5. 4 イベント等における土地利用・施設利用時の課題

(1) みなとオアシス構成施設におけるイベント等の土地利用・施設利用の現状

みなとオアシス構成施設(用地含む)において、イベント等で使用する場合、施設利用(占有)の許認可の手続きを行っていますか。(1つ選んで選択肢に“○(丸)”を付けて下さい)。

【選択肢】

- ☐ 手続きなどは行っていない
- ☐ 通常、施設利用(占有)の許認可手続きが必要だが、みなとオアシスなので手続き行っていない(もしくは、簡素化された)
- ☐ 施設利用(占有)の許認可手続きを行っている。
- ☐ その他 ※上記以外の回答について、下記に具体的にご記入下さい。

その他(具体的に)	
------------------	--

(2) 土地利用・施設利用時の課題(手続き面など)

みなとオアシス構成施設(港湾施設等の公共施設、民間施設)を利用して、みなとオアシスのイベントを実施する際の施設利用(占有)の許認可手続きにおいて、これまで問題が生じたり、不自由や煩雑だったことがありますか。施設利用時の手続き上の課題等をお教え下さい。(1つ選んで選択肢に“○(丸)”を付けて下さい)。

- ☐ 特にない
- ☐ 手続きや実際の利用時に不自由さ、煩雑さがあった → ※下記に具体的にご記入下さい。

構成施設名	手続きや、利用時の不自由さ等
例 ●●施設(公共)	例 利用申請書類や手続きが煩雑だった

「みなとオアシス」を活用した賑わい創出の推進に関するアンケート調査票

6. みなとオアシスの登録手続き等について

6. 1 みなとオアシスの登録手続きについて

みなとオアシスの登録時の手続き等についてご回答ください。

(1) みなとオアシス登録手続きに関する情報の入手しやすさ

みなとオアシス登録に関する情報は得やすかったですか。下記についてご回答ください。(該当するもの1つ選んで選択肢に“○ (丸)”を付けて下さい)。

【選択肢】

- () みなとオアシス登録に関する情報が得やすかった
() みなとオアシス登録に関する情報が入手しにくかった → ※下記に具体的にご記入下さい。

情報が入手しにくかった理由等
例 ホームページや連絡先等が分かりにくかった 等

(2) みなとオアシス登録要件のわかりやすさ

みなとオアシス登録要件の内容はわかりやすかったですか。(1つ選んで選択肢に“○ (丸)”を付けて下さい)。

【選択肢】

- () 登録要件はわかりやすかった
() 登録要件に関してわかりにくかった → ※下記に具体的にご記入下さい。

登録要件がわかりにくかった点等
例 施設の登録範囲がわからなかった 等

(3) みなとオアシス登録までの流れ

みなとオアシス登録までの一連の流れに関して問題はなかったでしょうか。(1つ選んで選択肢に“○ (丸)”を付けて下さい)。

【選択肢】

- () 登録までの流れについては特に問題はない
() 登録までの時間が長かった → ※下記に具体的にご記入下さい。

登録の時間がかかった項目とその時の対応等
例 申請場所(提出先)がわかりにくかった 等

6. 2 みなとオアシスの支援について

以下に示す現行のみなとオアシスの支援内容(①～④)について(満足しているか否か、満足不満足の原因も含めてご回答下さい。「満足等」では、()内に“○ (丸)”を付けて下さい。

【回答欄】

現行の支援の内容	満足等 (選択)	左記の評価(満足・不満足)の理由等
①みなとオアシスの商標及びシンボルマーク(標章)の無償使用	() 満足 () 不満足	・
②ホームページや広報誌への掲載	() 満足 () 不満足	・
③各種イベントでの紹介等の積極的PR	() 満足 () 不満足	・
④社会実験の共同実施等	() 満足 () 不満足	・

「みなとオアシス」を活用した賑わい創出の推進に関するアンケート調査票

6. 3 みなとオアシスにおける港湾協力団体について

「みなとオアシス運営要綱」において、①みなとオアシス設置者は運営者に対し、港湾協力団体の指定の申請を促すよう努めること、②みなとオアシス設置者は、みなとオアシスの運営にあたり、港湾協力団体を積極的に活用すること、の2つの項目を記載していますが、以下の内容にご回答下さい。

(1) 港湾協力団体制度について

港湾協力団体制度（港湾管理者と連携して港湾の管理を行う民間団体等を港湾管理者が指定する）についてご存じでしたか。(1つ選んで選択肢に“○(丸)”を付けて下さい)。

【選択肢】

- () 知っていた → ※港湾協力団体に指定されている方は、下記にも具体的にご記入下さい。
() 知らなかった

【回答欄】

指定された港湾協力団体名称	
港湾協力団体の主な活動について	

(2) 港湾協力団体に指定されることのメリットについて

みなとオアシスの運営者、みなとオアシスで活動する団体等が港湾協力団体制度に指定されることにより、「団体として法律上の地位を獲得でき、団体の信用向上につながる」こと、「水域占用許可等の活動の際に必要な規制の一部が緩和される」こと等のメリットをご存じでしたか。(1つ選んで選択肢に“○(丸)”を付けて下さい)。

【選択肢】

- () 知っていた → ※具体的なメリットの活用事例について、下記にご記入下さい。
() 知らなかった

【回答欄】

指定されたことによるメリットの具体的な活用事例について	
-----------------------------	--

6. 4 みなとオアシスの登録、支援について要望等

上記までのみなとオアシスに対する登録、および支援内容に対するご回答を踏まえ、登録手続き、支援内容について強化すべき事項等がありましたら、それぞれ、下記にご記入下さい。

【回答欄】

みなとオアシス登録手続きについて強化すべき事項	例 港湾関係者以外にもみなとオアシス制度がわかりやすく、周知できるようにする 等
みなとオアシス登録後の支援について強化すべき事項	例 駐車場の一時使用等の手続きの簡素、施設整備への支援 等

※この設問(7.)は、自治体以外の方は「任意」でご回答ください

7. みなとオアシスの防災面の活用

7. 1 災害時におけるみなとオアシス構成施設の活用実績について

貴みなとオアシスの構成施設において、自然災害等が発生し、災害時に、例えば、復旧資材等の置き場、臨時ヘリポート、救援物資荷捌き場等に活用した実績がありましたら、下記の回答欄に、災害時の活用時の問題・課題とともにご回答下さい。

「みなとオアシス」を活用した賑わい創出の推進に関するアンケート調査票

災害時に活用したことの ある構成施設	災害時の活用方法	災害時の活用上で生じた問題点・課題と 対応(対処)方法

7. 2 防災訓練等によるみなとオアシス構成施設の活用の現状

貴みなとオアシスの構成施設において、自然災害の発生を想定し、避難訓練等を実施している構成施設がありましたら、下記の回答欄に具体的にご回答下さい。

【回答欄】

防災訓練等で活用している (したことのある)構成施設	防災訓練の概要(想定した災害、訓練の概要等)

7. 3 みなとオアシスにおける災害時に活用可能な施設

近年、地震、津波、台風、豪雨・豪雪等の自然災害が多発しています。災害発生時において、貴みなとオアシスの構成施設において活用できる施設はありますか。ございましたら、下記にご回答下さい。

(1つ選んで選択肢に“○(丸)”を付けて下さい)。

【選択肢】

- () 災害時に活用可能な構成施設が有 → ※下記に具体的にご回答下さい。
 () 災害時に活用可能な構成施設がない

	災害時に活用可能なみなと オアシス構成施設の名称	災害支援対応の内容 (カッコ内に“○”)	左記の災害対応の具体的内容
1		()一次避難 ()情報発信 ()緊急物資輸送 ()緊急物資保管 ()その他(具体的:)	
2		()一次避難 ()情報発信 ()緊急物資輸送 ()緊急物資保管 ()その他(具体的:)	

7. 4 防災面におけるみなとオアシスの広域的な連携について

防災面におけるみなとオアシスの活用として、例えば、域内外の複数のみなとオアシスとの広域的な連携も有用であると考えています。どのような連携の姿が有用であるとお考えですか。(1つ選んで選択肢に“○(丸)”を付けて下さい)。

【選択肢】

- () 複数のみなとオアシス間での災害時応援協定(相互支援、物資供給等)
 () 避難者の受入れ(広域避難)
 () 相互のセミナー、研修の実施等、人材育成
 () その他 ※上記以外に、具体的な内容をご記入下さい。

上記以外の 防災面の広域連携について	
-----------------------	--

以上